



シスメックス

サステナビリティデータブック 2019

目次

経営とCSR

CSRマネジメント	2
マテリアリティ	6

社会

製品・サービスを通じた医療課題解決	14
責任ある製品・サービスの提供	19
魅力ある職場の実現	28
人権の尊重	41
社会貢献活動	43

環境

環境への配慮	48
--------	----

ガバナンス

コンプライアンス	63
リスクマネジメント	69

社外からのCSR評価	71
------------	----

2018年度実績データ

環境データ	74
第三者保証	80
社会性データ	81
ガバナンスデータ	84

情報開示体系／編集方針	86
-------------	----

基本的な考え方・体制

担当役員メッセージ

優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）への取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献します

気候変動などの環境問題、ハラスメントや差別などの人権問題といった社会課題の解決に対する企業の社会的責任が問われる中、21世紀に入りさまざまな企業でCSR活動への積極的な取り組みが始まりました。2015年には「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連で採択され、グローバルで課題解決への取り組みが進められています。企業は売上や利益などの業績を上げることで企業としての持続的な成長を目指すとともに、ESGを重視した企業経営を推進することも重要になっています。

このような社会の変化を踏まえて、シスメックスでは、ESGの観点から優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）を特定し、グループ中期経営計画に非財務目標を設定するとともに、課題展開して取り組みを推進しています。シスメックスの事業そのものが社会課題解決に貢献しており、製品・サービスを通じた医療課題の解決や、責任ある製品・サービスの提供はもちろんのこと、製品ライフサイクルにおける環境配慮や、事業所運営における環境負荷低減にも積極的に取り組んでいます。

あらゆる企業活動において、社内外での積極的な双方向コミュニケーションを推進し、ステークホルダーの皆様からの信頼を獲得するとともに、企業価値の向上と一層の取り組みを推進していきます。



取締役 専務執行役員 CFO
中島 幸男

基本的な考え方

シスメックスのCSRは、グループ企業理念である「Sysmex Way」の実践を通じて、ステークホルダーの皆様には「安心」をお届けすることです。

「Sysmex Way」は、企業活動の最も基本的なあり方を示したもので、シスメックスが社会に貢献し、そして成長し続けるために必要なMission、Value、Mindの3つの要素で構成しています。Missionでは、創業から取り組んできた検体検査分野を事業の核としながら、より広く、より深く人々の健康に関わるヘルスケアの領域での進化に挑戦し、豊かで、健やかな、歓びに満ちた社会づくりに貢献していくことを表明しています。

さらにSysmex Wayの「行動基準」では、お客様、従業員、取引先、株主様、社会というステークホルダーの皆様に対する具体的な提供価値を明確にしています。例えば、社会に対しては、法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の皆様には安心をお届けしていくことや、環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会とともに取り組むことを大切にしています。

▶ [企業理念・行動基準についてはこちらをご覧ください。](#)

CSRマネジメント体制

シスメックスは、CSR活動の企画・立案および推進、社内外へのCSR情報発信などを行う専任部署としてCSR・環境推進部を設置し、取締役 専務執行役員の管理・統括の下、活動を推進しています。

グループ中期経営計画（2019-2021年度）では、マテリアリティに紐づく非財務目標を設定し、CSR活動を経営の中に明確に位置付けました。非財務目標は各部門の実行計画・活動に展開され、進捗は経営会議で報告し、目標の見直しや新たな施策の検討などを行い、PDCAサイクルを回します。

国連グローバル・コンパクト

シスメックスは、CSRへの取り組みを積極的に推進していくために、2011年2月、「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。マテリアリティの特定やCSR活動の推進にあたっては、国連グローバル・コンパクトの10原則や、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」などを参照しています。



国連グローバル・コンパクト



持続可能な開発目標（SDGs）のロゴ

- ▶ 「持続可能な開発目標（SDGs）」と優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）との関連性についてはこちらをご覧ください。
- ▶ 国連グローバル・コンパクトの10原則はこちらをご覧ください。 [🔗](#)

ステークホルダーとの関わり方

ステークホルダーとのコミュニケーション

シスメックスは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、事業活動がステークホルダーの要請や期待に込んでいるかを検証し、その結果をあらゆる事業活動に反映させています。

2018年度の主な対話実績

お客様との対話

- お客様満足度調査を各地域で実施
 - 学術セミナーを各地域で開催
 - 製品の正しい知識を伝えるユーザーグループミーティングを各地域で開催
 - お客様のフィードバックを取り入れたカスタマートレーニングプログラムを各地域で開催
- ▶ 詳細については「責任ある製品・サービスの提供」をご覧ください。

従業員との対話

- 従業員アンケート、インタビューの実施
- 全社員を対象としたキャリア設計に関する希望調査の実施（自己申告制度）^{※1}
- 労働組合との対話を実施^{※2}

※1 シスメックス株式会社

※2 シスメックス株式会社、シスメックス 上海、済南シスメックス、シスメックス 無錫、シスメックス ベトナム、シスメックス タイ、ハイフェンバイオメッド

- ▶ 詳細については「魅力ある職場の実現」をご覧ください。

取引先との対話

- サプライヤー説明会の開催
 - 販売代理店会議の開催
- ▶ 詳細については「責任ある製品・サービスの提供」をご覧ください。

株主・投資家との対話

- 定時株主総会および株主懇談会を開催
 - 機関投資家・アナリスト向けの決算説明会、技術説明会を開催
 - 個人投資家向けの会社説明会、会社見学会を開催
- ▶ 詳細については「IR資料室」をご覧ください。

地域住民との対話

- 神戸マラソンに協賛、従業員ボランティアによる大会運営支援
 - 研究開発拠点「テクノパーク」で地域交流イベントを開催
 - 世界各地での社会貢献活動を通じて地域住民との対話を実施
- ▶ 詳細については「社会貢献活動」をご覧ください。

ステークホルダーダイアログの実施

〈創立50周年記念事業〉未来プロジェクト「MIRAI LABO」

シスメックスは2018年に創立50周年を迎えました。節目となるこの年に、記念事業の一つとして世界各地で働く従業員が参加する「未来プロジェクト MIRAI LABO」を実施しました。

MIRAI LABOでは、「Sysmexの未来に向けたチャレンジ『Workplace Communication』」をテーマに、「5～10年後の未来を見据えた仕事とシスメックス」「グループ全体のコミュニケーション活性化のアイデアとチャレンジ」について、自分自身の役割も含めたディスカッションを行いました。さまざまな意見・提案は、50周年をきっかけに開設した社内SNSを通じてグループで共有し、双方向コミュニケーションが生まれました。

今後も、部門間交流や勉強会、社内SNSの活用により、職場でのコミュニケーション活性化を図っていきます。

ディスカッションの様子



特定したマテリアリティ

シスメックスのマテリアリティ

2017年5月、シスメックスでは、持続可能な社会の実現および当社の持続的な成長に向けて、優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）を特定しました。特定したマテリアリティは、具体的なアクションプランに展開し取り組みを進めています。

▶ マテリアリティの検討（特定プロセス）についてはこちらをご覧ください。

シスメックスのマテリアリティ

マテリアリティ	GRIスタンダード関連側面	関連するSDGsの目標
<p>製品・サービスを通じた医療課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業活動を通じた医療課題解決 製品の普及等による医療アクセスの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 間接的な経済的インパクト 地域コミュニティ 	  
<p>責任ある製品・サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質・安全性の確保 製品・サービスに関する適切な情報開示 サプライチェーンの評価・管理 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーの環境評価 サプライヤーの社会的評価 顧客の安全衛生 製品およびサービスのラベリング 	 
<p>魅力ある職場の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境の確保 人材の育成 ダイバーシティの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用 研修および教育 多様性と機会均等 	 
<p>環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品ライフサイクルにおける環境配慮 事業所活動における環境負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料 エネルギー 水 大気への排出 排水および廃棄物 	   
<p>ガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> コーポレート・ガバナンス コンプライアンス リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 倫理と誠実性 ガバナンス 環境コンプライアンス 腐敗防止 反競争的行為 社会経済コンプライアンス 	 

製品・サービスを通じた医療課題解決

<なぜ重要か>

近年、先進国では高齢化を背景として、増加する医療費の削減や健康寿命の延伸に関するニーズが高まっています。一方、新興国・開発途上国では、人口の増加に医療インフラの整備が追いついておらず、世界で4億人の方が必要な医療を受けられない状況にあり[※]、医療サービスの利用可能性の向上が課題となっています。また、「持続可能な開発目標（SDGs）」では、人々の健康や福祉に関する目標が掲げられ、医療課題解決に向けたグローバル企業の取り組みへの期待はますます高まっています。

これらの状況を踏まえ、疾病の予防や早期発見、治療方針の決定に重要な役割を果たす検体検査領域では、価値の高い検査や診断技術の創出、世界三大感染症（HIV/AIDS、結核、マラリア）をはじめとする医療課題の解決が期待されています。シスメックスはこれらの課題に取り組むことで、医療の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献すると同時に、新たな技術や新規市場の創出によるビジネス機会の獲得と、持続的な成長を実現できると考えています。

※ 出典：WHO “[Universal Health Coverage](#)”

<アプローチ>

シスメックスは創業以来、検査ニーズに応じた製品ラインアップの拡充や正確で迅速な検査データの提供に取り組んできました。さらに近年は、個別化医療の実現に向けた遺伝子検査など、早期発見・早期治療につながる先進的かつ価値の高い検査や診断技術創出のための研究開発を行っています。加えて、新興国・開発途上国の医療アクセス向上に向けて、現地の検査室の品質向上や医療従事者への教育活動の推進など、医療水準向上を目指した事業活動を推進しています。

今後もこれまで培ってきた独自の技術やグローバルネットワークを活かして、医療の発展とともに人々の健やかな暮らしへの貢献を目指した取り組みを進めていきます。

▶ [製品・サービスを通じた医療課題解決に関する活動実績は、こちらをご覧ください。](#)

責任ある製品・サービスの提供

<なぜ重要か>

品質・リコール問題などによって、製品・サービスの品質および安全性に対する社会からの要請が高まっており、また、企業の責任範囲は取引先を含めたサプライチェーン全体に拡大しています。さらに、「持続可能な開発目標（SDGs）」では持続可能な製造責任や労働環境に関する目標が掲げられています。

シスメックスは、人々の生命と健康に携わる医療業界で事業を展開する企業として、製品・サービスの品質・安全性を高め、適切にサプライチェーンを管理することは、医療の質向上に貢献するとともに、お客様満足を高めブランド力強化につながる重要な活動であると考えています。

<アプローチ>

シスメックスは、グローバルな品質マネジメントシステムを構築することで、継続的な品質の維持・向上を図っています。また、きめ細かなサービス&サポート、お客様からの声を製品開発や品質改善に活用するしくみ（VOC：Voice of Customer）の構築、最新の学術情報の提供など、お客様満足向上に向けた取り組みを行っています。さらに、グローバルに事業を展開する企業として、安定的に製品をお届けする体制を強化するとともに、CSRに配慮した調達活動を推進し、取引先とともに持続的に発展することを目指しています。

今後も責任ある製品・サービスの提供を通じてステークホルダーの皆様からの信頼を獲得し、安心をお届けしていきます。

▶ [責任ある製品・サービスの提供に関する活動実績は、こちらをご覧ください。](#)

魅力ある職場の実現

<なぜ重要か>

企業が持続的に成長するために、優秀な人材の確保は不可欠であり、それを実現するにはダイバーシティの推進や働きやすく働きがいのある魅力ある職場づくりが必要です。また、「持続可能な開発目標（SDGs）」においても、ジェンダーの平等や、働きがい、不平等の是正などの目標が掲げられています。

シスメックスは、「人材」を持続的な成長のための重要な経営資源の一つと捉え、魅力ある職場づくりを進めることが優秀な人材を惹き付け、企業競争力の強化につながると考えています。

<アプローチ>

シスメックスは、人材開発体系を用いた継続的・計画的な能力開発や、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、各種制度の導入などを通じて、多様な人材が安心して能力を発揮できる職場環境の整備を進めています。

今後も、持続的な成長の実現に向けて、多様な人材が能力を最大限に発揮できる職場づくりを進めるとともに、個々の成長の機会を提供していきます。

▶ [魅力ある職場の実現に関する活動実績は、こちらをご覧ください。](#)

環境への配慮

<なぜ重要か>

気候変動の緩和をはじめ、水資源・鉱物資源などの資源利用、生物多様性の保全など、地球環境の持続可能性は喫緊の課題となっています。また、パリ協定の発効や「持続可能な開発目標（SDGs）」などにも見られるように、環境問題は全世界で取り組むべき重要課題であり、とりわけ企業が果たす役割への期待が高まっています。

シスメックスはグローバルに事業を展開する企業として、深刻化する地球環境問題への対応を優先的に取り組むべき課題の一つと認識しています。気候変動による大規模な自然災害などは原料調達や製造機能の停止など経営上の重要なリスクと捉えるとともに、環境への配慮は地域社会との共生やステークホルダーからの信頼確保につながると考えています。

<アプローチ>

シスメックスは、長期的な環境マネジメントの指針として、シスメックスグループ長期経営目標の策定にあわせて、2025年を最終年度とする「シスメックス・エコビジョン2025」を策定し、製品・サービスのライフサイクルおよび事業活動のバリューチェーン全体における環境保全を推進しています。

今後も、持続的な成長と、重要な社会課題である環境負荷低減の両立に努めていきます。

▶ [環境への配慮に関する活動実績は、こちらをご覧ください。](#)

ガバナンス

<なぜ重要か>

ガバナンスの欠如による企業不祥事や、それに伴う社会的影響は大きくなっており、2015年6月には、企業に対して財務的側面だけでなく非財務的側面にも配慮した事業活動を行うことを求める「コーポレートガバナンス・コード」が施行されました。

シスメックスにおいても、ガバナンスおよび内部統制の強化や、経営の基盤強化に向けたコンプライアンスおよびリスクマネジメント体制の強化は、事業リスクの低減、ステークホルダーからの信頼の確保、ひいては中長期的な企業価値向上につながる重要な経営課題の一つと考えています。

<アプローチ>

シスメックスは、監査等委員会の設置や社外取締役による監督機能強化、取締役会の実効性向上などのガバナンスの強化を進めています。あわせて、コンプライアンス委員会や内部通報制度の設置、グループ全体でのリスクマネジメント機能強化に向けた体制の整備など、持続的な成長に向けた基盤強化に取り組んでいます。

今後も、経営の健全性、透明性を高め、経営スピードおよび経営効率を向上させることで、グループ全体の企業価値の最大化を目指してまいります。

▶ ガバナンスに関する活動実績は、こちらをご覧ください。

非財務目標 (KPI)

グループ中期経営計画（2019-2021年度）では、マテリアリティに紐づく非財務目標を設定し、CSR活動を経営の中に明確に位置付けました。非財務目標は各部門の実行計画・活動に展開され、進捗は経営会議で報告し、目標の見直しや新たな施策の検討などを行い、PDCAサイクルを回します。

マテリアリティ		KPI	定義	2021年度 目標値	2025年度 目標値 (エコビジョン)
製品・サービスを通じた医療課題解決	事業活動を通じた医療課題解決	ヘマトロジー市場シェア	ヘマトロジー（血球計数）分野における機器・試薬・サービスの市場規模に対する連結売上高比率	※2	—
		特許保有件数	特許、実用新案、意匠の保有件数の合計	※2	
		特許出願件数	特許、実用新案、意匠の出願件数の合計	※2	
		学術論文数	当社製品を用いてユーザーから発表された学術論文数	※2	
	製品の普及等による医療アクセスの改善	新興国売上高比率	連結売上高における新興国の売上高比率	※2	
責任ある製品・サービスの提供	サプライチェーンの評価・管理	CSR調査数	CSR調査に回答した取引先数の割合	※2	

マテリアリティ		KPI	定義	2021年度 目標値	2025年度 目標値 (エコビジ ョン)
魅力ある職場の実現	働きやすい職場 環境の確保	エンゲージメント スコア	企業風土調査結果	75%	—
		離職率※1	定年退職を除く、正社 員のみの離職率	※2	
		労働災害度数率※1	のべ労働100万時間あ たりの死傷者数の割合	0.35%未満	
		労働災害強度率※1	のべ労働1000時間あ たりの労働損失日数の 割合	0.05%未満	
	ダイバーシティ の推進	女性マネジメント 比率	課長級以上の女性比率	16.0%	
	人材の育成	平均教育時間	人事部門が提供する研 修を対象とした従業員 一人あたりの平均研修 時間	25.0時間	
環境への配慮 *エコビジョン2025 より 基準年度：2016年度	製品ライフサイ クルにおける環 境配慮	CO ₂ 排出量の削減率 (機器製品使用時)	機器1台あたりのCO ₂ 排出量の削減率	10%削減	15%削減
		水消費量の削減率 (機器製品使用時)	機器1台あたりの排水 量の削減率	10%削減	15%削減
		CO ₂ 排出量の削減率 (出荷物流)	単体売上高あたりの出 荷物流に伴うCO ₂ 排出 量の削減率	10%削減	15%削減
	事業所活動におけ る環境負荷低減	CO ₂ 排出量の削減率 (事業活動)	連結売上高あたりの事 業活動に伴うCO ₂ 排出 量の削減率	10%削減	50%削減
		水消費量の削減率 (事業活動)	連結売上高あたりの事 業活動に伴う水消費量 の削減率	10%削減	15%削減
		リサイクル率	廃棄物総排出量あた りのリサイクル排出量	88%以上	93%以上
ガバナンス	コンプライアンス	内部通報件数	同左	※2	—
		倫理違反件数	法律に違反した事象 およびグローバルコン プライアンスコード違 反があったとして制裁 処分が科された事象の 件数	※2	

※1 対象：シスメックス株式会社単体

※2 目標値は設定せずモニタリング指標として設定

マテリアリティの検討

マテリアリティの特定プロセス

以下の手順に従って、優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）を特定しました。また今後、国際社会の最新動向や事業環境の変化などをふまえ、必要に応じてマテリアリティの見直しを行います。

マテリアリティの特定プロセス



GRIガイドライン(G4)、国連「持続可能な開発目標(SDGs)」、ISO26000などの国際的ガイドラインや、サステナビリティ評価機関の調査内容などから社会の要請事項の分析を行い、シスメックスのCSR活動の現状と照らしあわせて、関連側面を抽出・識別しました。

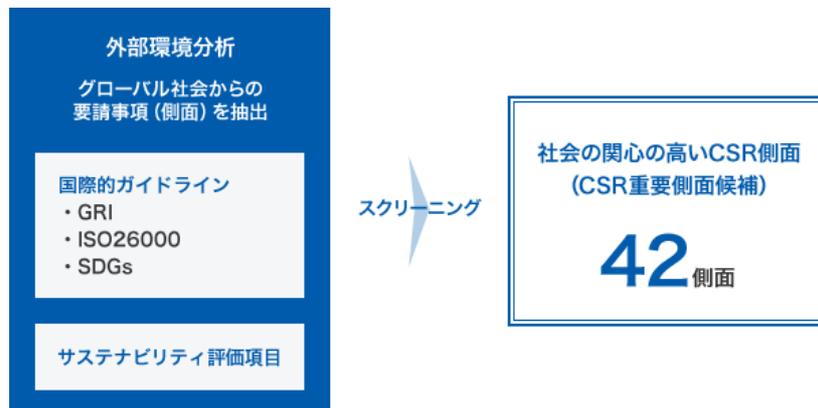


STEP.1で識別した関連側面を「自社のステークホルダーにとっての重要度（ステークホルダーの意思決定への影響の大きさ）」と、リスク・機会の観点による「シスメックスにとっての重要度（自社が経済、環境、社会に与える影響の大きさ）」の2軸で総合的に評価し、優先的に取り組むべき最重要側面を抽出しました。



STEP.2の結果を整理したマテリアリティを、代表取締役が議長を務める経営会議で審議し、承認を得ました。

STEP.1 課題の把握・整理



STEP.2 優先順位付け

シスメックスの事業活動は、バリューチェーンを通じて社会へさまざまな影響を与えています。当社グループはその影響を「自社のステークホルダーにとっての重要度」と、リスク・機会の観点による「シスメックスにとっての重要度」の2軸で総合的に評価し、優先的に取り組むべき最重要側面を抽出しました。バリューチェーン全体にわたり、CSRの取り組みを推進することで社会に貢献していきます。





研究開発

認識している社会課題・当社への期待

先進国における高齢化を背景とした医療費削減・健康寿命の延伸や、新興国・開発途上国の人口増加に対応可能な医療インフラの整備・医療サービスの利用可能性が課題となっています。研究開発により、このようなさまざまな医療課題解決への貢献が必要と考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 事業活動を通じた医療課題解決
- 製品の普及等による医療アクセスの改善
- 品質・安全性の確保
- 製品ライフサイクルにおける環境配慮



調達

認識している社会課題・当社への期待

企業の責任範囲は拡大し、原材料の品質だけでなく、人権、労働慣行、環境に配慮した調達が求められています。取引先と一体となった責任ある製品・サービスの提供が重要であると考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 品質・安全性の確保
- サプライチェーンの評価・管理
- コンプライアンス
- 製品ライフサイクルにおける環境配慮



製造

認識している社会課題・当社への期待

近年、品質・安全性に関する社会からの要請はさらに高まり、徹底した法令や規格の遵守、品質の高さ、安全性の確保が重要であると考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 品質・安全性の確保
- 事業所活動における環境負荷低減
- 製品ライフサイクルにおける環境配慮
- コンプライアンス



物流

認識している社会課題・当社への期待

物流効率の改善によるGHG排出量削減やリサイクル率向上など、環境問題への対応が必要であると考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 製品ライフサイクルにおける環境配慮



販売

認識している社会課題・当社への期待

グローバル企業として、医療課題を抱えている国や地域へ事業を展開し、課題解決へ貢献することが求められています。また、お客様満足向上の取り組みや適切な情報開示、安定的な製品供給などを通じて、お客様と長期的な信頼関係を構築することが重要であると考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 事業活動を通じた医療課題解決
- 製品の普及等による医療アクセスの改善
- 製品・サービスに関する適切な情報開示
- コンプライアンス



サービス&サポート

認識している社会課題・当社への期待

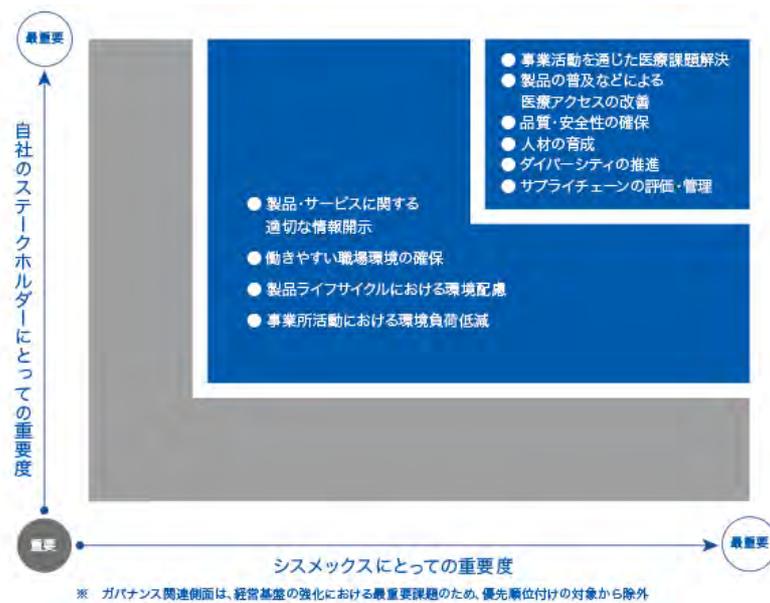
お客様満足向上の取り組みやグローバルかつタイムリーな品質情報の収集、不具合への対応、不具合情報や是正処置・予防処置のグローバルな共有などを通じて、お客様と長期的な信頼関係を構築することが重要であると考えています。

主なCSRの関連側面[※]

- 事業所活動における環境負荷低減
- 製品・サービスに関する適切な情報開示
- コンプライアンス

※ CSRの関連側面：GRIガイドライン(G4)、国連「持続可能な開発目標(SDGs)」、ISO26000などの国際的ガイドラインや、SRIなどの評価機関の調査内容などから社会の要請事項の分析を行い、シスメックスのCSR活動の現状と照らしあわせて抽出した側面のことです。

シスメックスのマテリアリティマトリックス



STEP.3 妥当性の確認、マテリアリティの特定

STEP.2の結果を整理したマテリアリティを、代表取締役が議長を務める経営会議で審議し、承認を得ました。

▶ 特定したマテリアリティはこちらをご覧ください。

製品・サービスを通じた医療課題解決 事業活動を通じた医療課題解決

さまざまな技術の融合を生み出す研究開発体制

シスメックスは、遺伝子・タンパク・細胞を分析対象とした技術プラットフォームを開発し、これらを多角的に活用して、患者さんに役立つ新たな検査・診断技術を創出します。研究開発の中核拠点であるテクノパークでは、多彩な分野の研究者および技術者が連携・協働し、お客様のニーズにお応えする機器、試薬、ソフトウェアの研究開発に取り組んでいます。2019年4月にはバイオ診断薬拠点「テクノパーク イーストサイト」を開設し、そのうちの施設「バイオポート」では、診断薬の原材料開発、診断薬の分析機能を有し、診断薬の高機能、高品質化に加え、開発のスピードアップに貢献します。また、米国やドイツなどにも研究開発拠点を設置し、グローバルな研究開発体制を構築しています。

さらに、オープンイノベーションにより、国内外の研究機関や大学、医療機関とのコラボレーションを促進しています。その一環として、テクノパーク内に社外の研究者との共同研究開発を行うオープンイノベーションラボを設置し、個別化医療の実現に向けた研究開発を進めています。

- ▶ 「研究開発体制」の詳細についてはこちらをご覧ください。
- ▶ 「オープンイノベーション」についてはこちらをご覧ください。

がんゲノム医療の取り組み

近年がん治療では、確定診断に加え、薬剤の効果予測や再発モニタリングなどを目的に、遺伝子やタンパク質を用いた多くの検査が行われています。なかでも、がんクリニカルシーケンシング検査は、がん組織中の数百からなる複数の遺伝子を一度に測定し、その患者さんのがん固有の遺伝子異常を網羅的に解析（プロファイリング）し、がんの診断や治療、抗がん薬の選定に役立つ有用な情報を提供することが可能となります。

シスメックスは、国立研究開発法人国立がん研究センターと共同で開発したがんゲノムプロファイリング検査用システム「OncoGuide™ NCCオンコパネル システム」が、先駆け審査指定品目として厚生労働省より指定を受けた後、日本で初めて製造販売承認を取得しました。2019年1月に発売し、理研ジェネシスによるアッセイサービス（受託解析サービス）を開始しました。また、がんゲノムプロファイリング検査用システムとして、日本で初めて2019年6月1日付で保険適用を受けました。今後は、保険診療下で検査が可能となり、より多くのがん患者さんに対して受診機会が拡大することが期待されます。

患者さんの負担を軽減する検査の提供

血友病は凝固因子が不足し止血異常を引き起こす疾患で、診断、治療モニタリングには凝固因子の定量検査が必要です。従来から広く実施されてきたAPTT^{※1}試薬を用いる検査では、用いる試薬の種類によって測定値が一致しないケースがあることが知られており、近年は合成基質法による検査が求められています。また合成基質法は、静脈注射の回数が減ることで患者さんへの負担軽減が期待される「半減期延長血液凝固因子製剤」^{※2}の投与後モニタリングにおいても臨床的有用性が示されています。

シスメックスは、血友病Aの診断・治療補助として用いられる凝固第VIII因子測定キット「レボヘムFVIII 合成基質」に続き、血友病Bの診断・治療補助として用いられる「レボヘムFIX 合成基質」を2018年12月に販売を開始しました。「レボヘムFIX 合成基質」は、合成基質法を測定原理とした血漿中の凝固第IX因子測定キットとしては国内で初の市場導入となります。本製品を通じた検査の質向上と患者さんの負担軽減に貢献します。

また、血管などに詰まったコレステロールを肝臓に運び回収するHDL（High-density Lipoprotein）機能の測定は、これまで手法が煩雑で測定値が一致しないことや検査日数を要するなど、検査結果の安定性・迅速性に課題がありました。シスメックス



レボヘムFIX 合成基質

は、神戸大学大学院医学研究科「立証検査医学（シスメックス）分野」と共同研究を進め、HDL機能評価の新たな測定法を構築し、自社のプラットフォームである「研究用全自動高感度免疫測定装置 HI-1000」を用い自動化することにより、約30分でHDL機能の評価を可能としました。2018年12月から研究受託サービスとして、「HDL機能測定（研究用）」の提供を開始しており、このサービスを通じて、HDLを対象とした創薬研究や疫学研究など幅広い臨床エビデンスの蓄積と、動脈硬化関連疾患における新たな診断、治療法の創出に貢献します。

※1 APTT（Activated Partial Thromboplastin Time：活性化部分トロンボプラスチン時間）とは、内因系凝固因子の活性・異常を判定する際に用いられる検査項目。外因系凝固因子の活性・異常を判定するPT（プロトロンビン時間）とともに止血機能のスクリーニング検査に用いられる。

※2 半減期延長血液凝固因子製剤とは、従来の血液凝固因子製剤よりも血漿中消失半減期が延長されており、3～5日間隔の定期的な投与や、患者の状態によっては週1回の投与も可能となり、従来よりも静脈注射の回数が減ることで患者さんへの負担軽減が期待される。

ITを活用した医療環境の改善

シスメックスは、新たなネットワークソリューション「Caresphere™（ケアスフィア）」の提供を2018年3月より開始しました。

「Caresphere™」は、IoTやクラウドを活用して、検査装置や臨床検査情報システムなどで管理しているさまざまな情報をリアルタイムに連携・解析する、シームレスかつ安全でグローバルに標準化されたプラットフォームです。本プラットフォーム上で、病院の検査室や検査センターにおける効率的な運営や品質管理の強化に役立つ情報が一元的に管理され、フレキシブルに情報を抽出・可視化することができ、業務効率化、品質強化、患者さんの満足度向上などを支援します。

また将来的には、地域医療に携わる施設やそれらの施設で従事する幅広い医療従事者の方向けアプリケーション・サービスの展開も予定しており、臨床検査および医療全体の生産性・品質向上に貢献することを目指しています。

- ▶ [新たなネットワークソリューション「Caresphere™」についてはこちらをご覧ください。](#)
- ▶ [「ITを活用したソリューションの提供」についてはこちらをご覧ください。](#)

製品・サービスを通じた医療課題解決

製品の普及等による医療アクセスの改善

世界には貧困問題や、医療環境・医療制度・医療供給システムの未整備などにより、適切な医療を受けることが困難な地域が存在します。

シスメックスは、グローバルに事業を展開する企業が果たすべき責務の一つとして、一人でも多くの方が適切な医療を受けられるよう、医療アクセスの改善に向けた取り組みを進めています。

三大感染症への取り組み

三大感染症と呼ばれる、HIV/AIDS、結核、マラリアは、多数ある感染症の中でも世界規模で長期にわたり流行している感染症で、毎年約300万人もの命を奪います。近年、治療薬やワクチンの普及により、感染規模は縮小しつつありますが、経済的理由や社会的・文化的な背景により、貧しい方や社会的に弱い立場におかれた方にまで予防・治療の医療サービスが届いていないのが現状です。また、健康を害することは、労働力の減少や、生産性の低下、医療費の増大などにつながり、経済成長にも影響を及ぼします[※]。

シスメックスでは、これまで培ってきた臨床検査における検出技術を活かし、診療の判断材料に寄与する製品の開発を進めるとともに、産官学と連携した取り組みを推進することで、三大感染症の解決に貢献していきたいと考えています。

※ 出典：グローバルファンド日本委員会／三大感染症を知る

新興国・開発途上国におけるHIVの診断や治療の質向上への貢献

HIV感染者数は、アフリカを中心として、世界で3,690万人に上ります^{※1}。これらのHIV感染者への治療方針確定や、治療効果のモニタリングなどにおいては、CD4陽性リンパ球の数や比率を調べる検査が重要な役割を果たしています。

シスメックスは、シスメックス パルテックが開発・製造するCD4陽性リンパ球検査システム「CyFlow™ Counter System」を新興国や開発途上国で提供しています。このシステムは、血液中のCD4陽性リンパ球の数と比率をわずか3分で測定し、小型・ポータブル式であることに加え、メンテナンスを簡略化するなど、簡便かつ迅速、安定的な検査を支援します。

2018年8月に「CyFlow™ Counter System」はWHOによる事前認証（Prequalification）^{※2}を取得しました。WHO事前認証は、医療機器や医薬品など資源の限られた国々で安心して使用できるようにするために、WHOが性能を担保していることを示す認証制度です。この認証取得を機に、医療資源が限定される国や地域への導入をさらに推進し、新興国や開発途上国におけるHIVの診断や治療の質向上に貢献していきます。

※1 出典：Number of people (all ages) living with HIV (WHO, 2017)

※2 医薬品・検査・ワクチン等のヘルスケア製品を資源の限られた国々で安心して使用できるようにするため、WHOが品質や安全性、効能などを担保していることを示す認証制度。2001年にHIV/AIDS用の医薬品向けに制度が開始され、現在では新興国・開発途上国が物品調達時に参照するリストとして使われたり、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(Global Fund)をはじめとした基金団体がこの事前承認を受けた製品を優先的に選択している。

<http://www.who.int/topics/prequalification/en/>



CyFlow™ Counter

マラリア排除に向けた取り組み

三大感染症の一つであるマラリアはここ数年減少傾向にあります。世界で毎年約2億人が感染し、約44万人が死亡しており^{※1}、死亡者数の9割以上を占めるアフリカでは、5歳未満の子どもの命が2分間に1人のペースで奪われています^{※2}。

シスメックスはマラリア排除に向け、自社の事業分野である検査・診断領域において、医療へのアクセスを改善するための活動を推進しています。

2019年4月にヘマトロジー分野の新製品「Automated Hematology Analyzer XN-31」が、欧州IVD指令に適合してCEマークを取得し、欧州において順次発売予定です。従来のマラリア検査では、顕微鏡や迅速診断キットが用いられていましたが、15分から30分の時間がかかること、また顕微鏡検査には熟練の技術を要することが問題でした。それに対してXN-31は、マラリア原虫等感染赤血球の有無を約1分で迅速に測定することができます。また、その感染赤血球数の定量やマラリア原虫などの種類を示唆する情報を提供することも可能です。南アフリカ・インドで行った臨床評価においては高い感度および特異度を得ており、臨床用途としてマラリアの診断補助に活用可能^{※3}です。今後、各国での薬事承認取得に向けた活動を推進し、マラリアまん延地域や、マラリアの流入防止に取り組む先進諸国へ広く導入することで、世界におけるマラリア排除（マラリア・エリミネーション）に貢献します。

また、2016年より産官学によるマラリア・コンソーシアムに参画し、「血液検査」分野における役割を担っています。マラリア・コンソーシアムは2018年4月、アジア・アフリカにおける「マラリア・エリミネーションに向けたわが国発のP3（Public-Private Partnership）」を日本政府に提案し、日本企業の技術を結集してマラリア・エリミネーションを目指しています。

※1 出典：「WHO World Malaria Report 2018」

※2 出典：Malarianomore.org.uk

※3 本結果のみで診断を行うことはできません。その他の臨床情報を用いた医師の総合的な判断により確定診断がなされます。



マラリア・コンソーシアムによるイニシアチブ

グローバルヘルス技術振興基金「GHIT Fund」に参画

シスメックスは、「開発途上国の人々が感染症による苦難を乗り越え、先進国と同様に繁栄と長寿社会を享受できる世界を目指す」を活動のビジョンとする公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）に2015年より参画しています。GHIT Fundの活動は第2期目（2018～2022年）に入り、当初の「製品開発」から「その製品を必要としている人々へ届ける活動」にシフトしています。当社も引き続きGHIT Fundの第2期の活動に参画し、日本発の技術革新による新たな感染症診断薬の開発・提供に向けた取り組みを推進し、開発途上国における感染症撲滅に貢献していきます。

現地の医療水準の向上を支援

シスメックスでは、医療インフラの整備や医療水準向上の一環として、アジア数カ国で外部精度管理支援などの臨床検査の質向上のための活動を行っています。またアフリカでは外務省やJICAなどの国際協力団体と連携し、医療従事者への教育や製品・サービスの提供による支援を行っています。

ガーナ共和国への尿検査自動化技術普及促進による医療環境の向上を支援

アフリカ諸国では、がん、糖尿病、腎臓病などの非感染性疾患（NCDs）の患者さんが増加しています。NCDs対策においては、予防や早期発見・早期治療が重要とされている一方で、スクリーニング方法の一つとして有効かつ比較的簡便な尿検査が十分に普及していないことや、手作業による検査結果の不均一性などが課題となっています。

そのような背景から、シスメックスは、ガーナ共和国を対象とする「尿検査自動化技術普及促進事業」をJICA公募事業「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」に提案し、採択されました。



キックオフセレモニーの様子

この事業では、当社の全自動尿検査搬送システムのガーナ国立教育病院への導入に加え、現地の医療従事者の方に向けた尿検査自動化の臨床的価値や検査の品質管理、装置メンテナンスなどに関する研修を実施します。この活動を通じて、ガーナにおけるNCDsの予防や早期発見・早期治療の促進に貢献していきます。

国際基準に適合した臨床検査室の品質管理体制構築を支援

シスメックスは、医療人材および医療インフラの不足とともに医療の質確保が課題とされているアフリカ ナミビア共和国において、臨床検査室の品質管理体制構築を支援しました。Namibia Institute of Pathologyの3施設に対して当社製品を導入し、国際基準（ISO 15189）に適合した臨床検査室の運営を目指した品質管理システム運用マニュアル「Sysmex Quality Guidance Manual」を用いたメンターシップ[※]方式のトレーニングを提供しました。



メンターシップトレーニング

アフリカ地域では、これまでザンビア共和国とジンバブエ共和国においても同様の取り組みを通じて検査室の品質向上支援活動を展開しており、これらの実績を布石として、アフリカの近隣諸国への水平展開を図っていきます。

※ 人を単に管理するという発想でなく、組織の方向性や価値観を明確にした上で、事業に関わる全ての人の成長と成功を追求し、人を動機付け、能力を向上させていくように導く姿勢やスキル、また、そのしくみによって組織を活性化していくマネジメントのこと。

臨床検査の標準化・質向上に向けて学術支援活動を展開

シスメックスは、中国やモンゴル、カンボジア、ミャンマー、タイ、フィリピンの政府機関や基幹病院、大学などと学術支援活動に関する契約を締結し、支援を行ってきました。

モンゴルにおいては、従来のヘマトロジー・生化学・免疫分野に加えて、2017年からは新たに血液形態検査分野にも対象を拡大し、支援活動を継続しています。現地の臨床検査技師に、技術的、学術的ノウハウを提供するとともに、国家的に実施される血液形態検査の外部精度管理のしくみの構築・運営を支援することで、モンゴルの医療水準の向上に貢献しています。

アジア地域における外部精度管理サービス実績

国	実績
モンゴル	ヘマトロジー・生化学・免疫・血液形態検査分野で外部精度管理を実施
ミャンマー、フィリピン、カンボジア、タイ	血球計数分野で外部精度管理を実施

その他医療従事者への教育支援

医療アクセスの向上には、医療インフラの整備とともに、適切に訓練を受けた医療従事者の存在が不可欠です。シスメックスは、臨床検査室の品質向上や臨床検査の標準化・質向上を通じた教育支援に加え、医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会の開催、最新の学術情報の発信などを実施しています。

▶ [カスタマーリレーションについてはこちらをご覧ください。](#)

責任ある製品・サービスの提供 品質・安全性の確保

品質・安全性に関する方針

シスメックスでは、「品質方針」「行動基準」および「シスメックスコーポレーション品質コンプライアンス方針」に基づき、国際的な法令、規格などを遵守するための体制を整備し、活動しています。

品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立って行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組みます。

2007年5月改定

品質マネジメント

グローバルな品質マネジメントシステム

シスメックスでは、全ての生産拠点※で国際規格ISO 9001またはISO 13485の認証を取得しています。グループ全77社中では、ISO 9001は33社、ISO 13485は19社が認証を取得しています。これらのマネジメントシステムが確実に運用されていることを確認するために、主要なグループ会社の品質活動についてマネジメントレビューや品質監査を実施しています。2018年度は内部品質監査で33件、外部品質監査で1件の不適合が見つかりましたが、是正対応を完了しています。

また、国内外のグループ会社から品質管理の担当者が参加する「グローバルRAQA（Regulatory Affairs Quality Assurance）会議」を定期的で開催してグループ全体での品質情報の共有と体制強化に取り組んでいます。

※ 100%子会社

継続的な改善プログラム

品質を維持・向上するためのしくみを強化

臨床検査で用いられるシスメックスの製品は、人々の生命と健康を守る上で極めて重要な役割を果たしています。そのため、製品の設計・開発段階において、世界各国の安全規格を満たすことはもちろん、さまざまなしくみを構築して、製品品質の維持・向上を図っています。

製品の開発プロセスにおいては、市場に導入するまでに5つの「クオリティ・ゲート」を設けて品質を確認しています。また、シスメックスが販売する他社製品についても製造業者への監査や製品の検査を実施し、品質確保に努めています。このような取り組みに加えて、万一不具合などがあった際には、すぐにそれを把握し、対応できるような体制を整えています。

製造現場においては、製造工程およびサプライヤーの不適合発生状況を毎月監視し、不適合率の高いサプライヤーに対しては品質改善を適宜指示するとともに、定期的に品質監査を実施することで品質を確保する体制を整えています。さらにグローバル品質苦情処理システムによって、グローバルかつタイムリーに市場から品質情報を収集し、不具合情報を入手した際は直ちに原因を究明し、不具合品の市場流出を防止しています。このような不具合情報や正処置・予防処置はグローバルに共有し、製品品質の維持・向上に役立てています。

第三者機関から認定された品質の高い製品・サービスの提供

シスメックスでは客観的な信頼性を高めるため、製品の検査結果に関する品質保証体制を強化しています。

その取り組みにより、2018年4月、標準物質の生産を行うシスメックス国際試薬において、標準物質生産者の能力に関する国際規格ISO Guide34の認定を取得しました。ISO Guide34認定は、適切な品質の標準物質を供給できる能力を証明するもので、血球計数検査分野において日本で初めての取得となりました。本認定の取得により、当社製品・サービスのデータ保証に関わる客観的信頼性が高まり、臨床検査機関のお客様は、適切な検査データを提供できる能力を持つことをグローバルに実証することができます。

またシスメックスは、以下の認証も取得しています。

- ISO/IEC 17025（試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項）
- ISO/IEC 17043（適合性評価—技能試験に対する一般要求事項）
- ISO 15195（臨床検査分野の基準測定検査室に対する要求事項）

従業員へのトレーニング

品質・安全に関わる教育に注力

シスメックス株式会社では全従業員を対象とした品質方針教育に加えて、特定の部門・職種を対象とした基本的・専門的な品質教育を実施しています。

世界190以上の国や地域で製品・サービスを展開している企業として、開発部門の技術者に各国の法規制の教育を実施し、法規制に則った製品開発を徹底しています。

2018年度の実績（事例）

会社名	取り組み内容
シスメックス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> • 製造販売担当の安全管理従事者および不具合の調査従事者に対し、健康被害発生の原因となる「安全管理情報」の収集および取扱方法を正しく理解することを目的としたGVP（Good Vigilance Practice）の教育実施（784名） • 品質方針、グループ品質目標、QMS関連法令等の教育実施（アイスクエア、加古川工場：389名）
シスメックス国際試薬	<ul style="list-style-type: none"> • 品質方針、グループ品質目標の教育実施（小野工場、西神工場：265名）
シスメックスメディカ	<ul style="list-style-type: none"> • 品質方針、グループ品質目標の教育実施（145名）
シスメックスRA	<ul style="list-style-type: none"> • 品質方針、グループ品質目標の教育実施（195名）
シスメックス ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> • 品質管理、環境、エネルギーを含む情報管理システムの教育実施 • 医療機器コンサルタント法の対象となる全ての従業員（主に販売、マーケティングおよびサービス担当者）を対象に、定期的な専門教育実施

責任ある製品・サービスの提供

製品・サービスに関する適切な情報開示

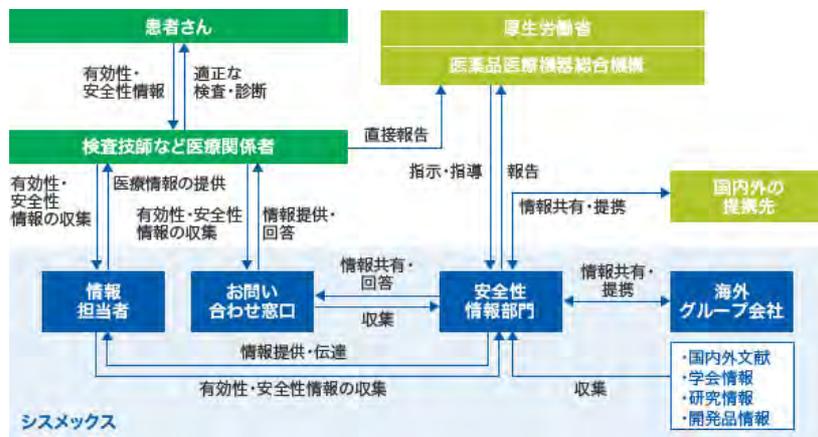
品質・安全性に関する情報

お客様からの情報をグループ内で共有

製品の品質と安全性はメーカーとしての信頼性の確保に直結することはいうまでもありません。

シスメックスは、製品の品質と安全性に関する情報を管理する信頼性保証部を設置して外部から寄せられる情報を調査・分析して設計・製造など各部門と共有し、品質改善だけでなく、次代を担う新製品の開発に活かす体制を整えています。

製品の品質と安全性に関する情報を管理する体制



ウェブサイトでの回収・改修の情報を開示

シスメックスでは、製品の回収・改修などの情報を当社ウェブサイト内「製品に関する重要なお知らせ」で開示しています。

- ▶ 「製品に関する重要なお知らせ」についてはこちらをご覧ください。 [▶](#)

模倣試薬の積極的な取り締まり

シスメックスは、正確な検査結果を保証するために、医療機関のお客様には純正の機器と試薬のセットでご使用いただくようお願いしています。近年、一部の地域でシスメックス製試薬の名称や容器の形状を模倣した試薬の流通が発見されています。模倣試薬を使用した場合、検査結果の信頼性が保証できず、場合によっては患者さんに健康被害をもたらす危険性があります。

このため、模倣試薬の市場流通状況を継続的に監視しており、模倣試薬を発見した場合は、知的財産権を用いて現地の行政機関や司法機関を通じて迅速かつ徹底的な取り締まりを実施しています。また、現地の新聞に広告を掲載し、医療機関が模倣試薬を使用しないよう注意喚起しています。

責任ある製品・サービスの提供 サプライチェーンの評価・管理

行動基準

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様とともに発展する企業を目指します。

サプライチェーンマネジメント

サプライチェーンにおけるCSR調達の推進

シスメックスでは、調達は事業活動の基盤を支えるものであると位置付け、行動基準に準拠した「調達方針」を定め、これに基づく取引先の選定、サプライチェーンマネジメントの構築に取り組んでいます。また、調達活動における環境配慮の基本的な考え方としては「グリーン調達基準」を制定しています。

2015年3月にはサプライチェーンにおける強制労働や児童労働、人身取引、搾取などの撲滅を規定した「英国現代奴隷法」が発効したことを受け、シスメックス UKがホームページに声明文を公開するなど、同法に適正な対応をしています。

- ▶ [グリーン調達についてはこちらをご覧ください。](#)
- ▶ [「英国現代奴隷法」の対応についてはこちらをご覧ください。](#)（シスメックス UKホームページ）[▶](#)

調達方針

シスメックスグループ企業理念「Sysmex Way」で定める「ヘルスケアの進化をデザインする」というMissionのもと、公平・公正を基本とした調達活動を行い、取引先の皆様に安心をお届けします。また相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業を目指します。我々は、法令や契約の遵守とともに高い倫理観のもと、ヘルスケア分野で事業展開する企業にふさわしい品質の部品・原材料の安定調達を行い、世界中のお客様に安心してご使用いただく製品をお届けできるよう、本方針に従い活動していきます。取引先の皆様には、下記7項目において、将来の価値の創造、改善につながる取り組みを期待しています。

お取引先様へのお願い

1. ヘルスケアにふさわしい品質
2. 継続的な供給体制の構築
3. ヘルスケアの発展に貢献できる技術力
4. 安定した経営基盤とBCP（事業継続計画）体制の構築
5. 各国の法令や社会規範などを遵守した経営およびCSRの推進
6. 地球環境保全に向けた環境マネジメントの推進
7. 適正価格での供給と積極的な価格低減活動の実施

2014年3月改定

CSR調査の実施

シスメックス株式会社では、取引先におけるCSR活動を確認するために既存および新規の取引先の現況を調査しています。2018年度に対象となったのは、既存取引先約230社及び新規取引先3社です。実施率は85%となり、目標の80%を達成しました。2019年度は90%以上の実施を目標としており、CSR調査結果のフォローアップも実施します。また、2018年度には一部の二次サプライヤーに対しても調査を実施しました。

既存取引先向けの調査はグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンが開発したCSR調達セルフ・アセスメント・ツールを採用しています。調査項目は人権、労働慣行、腐敗、環境、紛争鉱物など多岐にわたります。当社は分科会メンバーとしてこのツール、他各種アウトプット制作に取り組んでいます。

新規取引においては、CSRの取り組みに問題がある場合は取引を実施しないことを定めており、CSR調査に加えて経営者との面談も行います。こうした取り組みは海外の取引先についても同様であり、特に児童労働や職場環境については調達担当者が現地を訪れて状況を確認し、問題がないかを確認しています。

- ▶ [グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 共通版CSR調査票「CSR調達セルフ・アセスメント・ツール・セット」はこちらをご覧ください。](#)

調達部品・原材料の品質向上に向けて

シスメックスでは、品質に関する要求事項を明確にした品質保証協定書を提示し、当社の調達方針についてご理解いただいた上で契約を締結しています。納入品の品質確認を行い、是正や予防措置の実施が必要と判断された場合に品質監査を実施しています。

新規の取引先に対しては品質監査を実施し、品質管理が適切に運用されているかどうかを確認しています。また、既存の取引先に対しても定期的な品質評価を行い、品質を維持・向上するための取り組みを行っています。

サプライチェーンでの連携

シスメックスでは、当社の事業の方向性や調達方針をご理解いただいた上で取引ができるよう、取引先との関係強化に努めています。

2018年度は国内の主要な取引先に対して、設立50周年を機に「感謝と挑戦」をテーマにパートナーズセレブレーションを開催し、長期間取引を継続しているサプライヤー、技術的に優れたサプライヤーの表彰を実施しました。

また、サプライチェーンにおけるCSRの取り組み強化・推進を目的に、CSRの取り組みが優れた調達先を選出し、当社CSR部門も参加したダイアログを行いました。

今後も安定したサプライチェーンの維持・強化を図っていきます。

調達関連法規制遵守を目指した社内啓発活動

シスメックス株式会社では、電子調達システムを構築し、不当な代金減額や返品を防止するとともに、同システムに関する研修を毎年実施しています。また、全調達部門員を対象として下請法に関する教育を実施し、さらに新規配属者を対象として「調達方針」「CSR」「グリーン調達」「調達リスク」に関する教育を実施しています。

カスタマーリレーション

お客様満足度の向上

国内外でお客様満足度調査を実施

シスメックスでは米州、EMEA[※]、アジアパシフィックの主要国に加え、中国や日本など、さまざまな国や地域でお客様の満足度調査を実施しています。展開している製品やサービスの内容に応じて、それぞれの国や地域で独自の指標を用いています。

シスメックス アメリカは、血球分析装置メーカーを対象としたお客様満足度調査「IMV ServiceTrak」（IMV社主催）で18年連続No.1を獲得しています。また、優れた製品・サービスを提供する企業に贈られる「Supplier Excellence Awards」（Quest Diagnostics社主催）の受賞企業4社の中に選ばれました。

その他EMEAやアジア・パシフィックでも定期的にお客様満足度調査を行っており、高い満足度を得られているという調査結果が出ています。

▶ [顧客満足度の調査結果については「2018年度実績データ」をご覧ください。](#)

※ 欧州・中東・アフリカ地域

お客様のニーズから独自のソリューションを創出

シスメックスでは、検査機器・試薬・ITの技術を融合し、お客様のニーズに応える独自のソリューション創出に努めています。近年は、複数の機器をつなぎ検査の自動化を実現することで、検体の取り扱いにおける感染リスクの軽減や検体の取り違えの防止、検査室の生産性を高めるロボティクス技術を駆使した搬送システムの構築、試薬交換回数を大幅に低減する濃縮試薬の提供などを行ってきました。

他にも、シスメックス ニュージーランドでは、公衆衛生診断サービスを提供している Diagnostic Services Manitoba (DSM) と共同で、カナダ・マニトバ州の医療機関に向けたLIS (Laboratory Information System) を開発しました。LISは、州全体で標準化された診断サービスの提供に加え、患者さんのケアや診断結果のフローを効率化するシステムです。この結果が認められ、2018年度にはNZHITイノベーションアワードのファイナリストとして選出されました。

▶ [NZHITイノベーションアワードの受賞についてはこちらをご覧ください。](#)

サービス&サポートの充実

お問い合わせに、迅速・確実にお応えするために

シスメックス株式会社では、日本国内のお客様のための相談窓口「カスタマーサポートセンター」を設置し、豊富な知識を持った専任スタッフが、365日24時間体制（別途契約が必要）でお問い合わせに対応しています。同センターでは、過去のお問い合わせ内容やメンテナンス履歴などを蓄積し、すぐに参照できるようにすることで、お客様からのお問い合わせ・ご要望に迅速・確実にお応えしています。

また、相談窓口などを通じて収集したご要望は、VOC (Voice of Customer：お客様の声) チームが集約し、さまざまな角度から分析した後、関係部門へフィードバックされ、新たな製品開発や業務改善に活用されています。2018年度には、国内市場から約17,600件のお客様の声を収集しました。お客様の声から生まれた新たな機能や装備を搭載した装置は、製品カタログにVOCマークを記載しており、高い評価をいただいています。

グループ全体でも、各地域にカスタマーサポートセンターを設けてお問い合わせに迅速・確実にお応えする体制を整えるとともに、お客様のご要望にいち早く応えるしくみの構築に努めています。

Voice of Customer

VOC

お客様の声
が
活きています

Voice of Customer = お客様からのご意見・ご要望を製品開発に活かす取り組み。
日本国内で主要な機器・試薬の、研究開発から製造、販売、サービス&サポートまでを一貫して提供する
シスメックスならではの取り組みです。

ITを活用したソリューションの提供

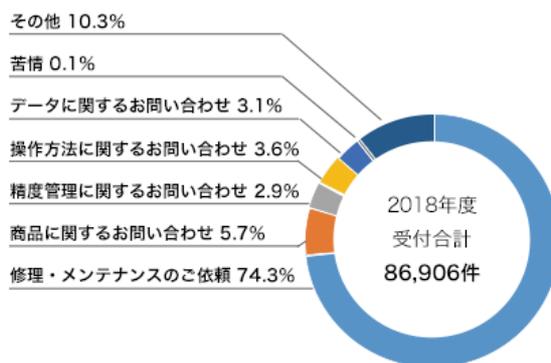
シスメックスは、病院などの検査装置の精度管理^{※1}や自動監視、リアルタイム解析をもとにした故障予測機能などを行うことで装置の安定稼働を支援するネットワークサービスSNCSTM^{※2}を提供しています。

世界的な情報化の進展などを背景に加速する効率化と品質強化への要求が高まる中、2018年度には新たなネットワークソリューション「CaresphereTM」の提供を開始しました。「CaresphereTM」は、IoTやクラウドを活用して、病院の検査業務や検査室運営のさらなる効率化と、検査装置や業務の品質管理を支援するアプリケーション・サービスから提供を開始し、将来的には、地域医療に携わる施設やそれらの施設で従事する幅広い医療従事者の方向への展開も予定しています。

※1 精度管理とは、検査装置の測定値を保証するための管理手法。お客様の検査装置が正しく機能しているかを確認すること。

※2 SNCSTM (Sysmex Network Communication Systems) とは、お客様の分析装置と、当社のカスタマーサポートセンターをインターネットでオンライン化することにより、リアルタイムの外部精度管理・装置状態の自動監視や、Webによる情報提供を行うサービスのこと。なお、実施するサポートサービスの内容は各地域により異なります。利用には別途契約等（有償）が必要です。

カスタマーサポートセンターお問い合わせ内容



▶ 過去3年間の実績は「2018年度実績データ」をご覧ください。

オンラインでのトレーニングサポートの実施

シスメックスでは、お客様サポートの一環として、機器およびメンテナンスのトレーニングを各地域で実施しています。

広大なエリアに医療機関が点在するシスメックス アメリカでは、お客様がシスメックスの研修施設に出向くことなく必要に応じてトレーニングを受けられるよう、ネットワークでつないだリアルタイムのバーチャルトレーニングを提供しています。事業拡大に伴う需要拡大を見据え、2018年度にはトレーニング施設を集約・拡張した「Center for Learning」を開設しました。

役立つ情報の発信

シスメックスでは、当社ウェブサイト「サポートインフォメーション」で、お客様に役立つ情報の発信を行っています。

最新情報をお伝えるメールマガジン配信サービス、コンテンツや閲覧履歴などを管理できるマイページ機能など、お客様によりご活用いただけるよう、継続的に機能の充実を図っています。



ウェブサイト「サポートインフォメーション」

臨床検査の質的向上へISOを活用

近年、臨床検査分野において検査結果の質の向上が強く求められており、世界的に国際規格への関心が高まっています。その一つとして、「ISO 15189（臨床検査室の品質と能力に関する要求事項）」を取得する臨床検査室も増加しており、すでに認定取得が義務化されている国もあります。

シスメックスは、臨床検査の校正機関に対する国際規格ISO/IEC 17025およびISO 15195の認定を取得しており、シスメックスが提供している自動血球分析装置に対する校正サービスの品質は、国際的な基準で担保できていることが証明されています。また、この分野での認定取得は国内では初となります。

お客様はISO 15189が要求する校正を実施していることを証明するために、シスメックスが発行する校正証明書をグローバルに認められた認証書として利用することができます。2018年度末時点で、シスメックスは延べ4,800台以上の装置に対して認証書を発行しました。

また、外部精度管理サービスであるSNCS/eQAPI[※]は全産業分野で国内初となるISO/IEC 17043「適合性評価-技能試験に対する一般要求事項」の認定を取得しました。

※ SNCS（Sysmex Network Communication Systems）はネットワークを利用して臨床検査機器の精度保証および故障監視・修理サポートなどを行うサービス。eQAPIは機器や試薬メーカーを選ばない外部精度保証

学術活動

シスメックスは、日本をはじめとするアジア各国の医療従事者などを対象に最新の医学情報を提供するためのセミナーを開催するとともに、各国の保健省をはじめとした国家機関や主要学会とともに、医療水準の向上を図るための学術活動を展開しています。

医療従事者向けの学術セミナーを開催

第41回シスメックス学術セミナー

シスメックスでは医師および臨床検査技師など第一線で活動されている医療従事者を対象とした学術セミナーや勉強会を各地域で実施しています。

臨床検査分野における最新の情報を提供し、その知見を共有する場として1978年より毎年開催しているシスメックス学術セミナーは、2018年6月に第41回を迎えました。2018年度は「ここまで来たミレニアム先端医療」をテーマに、神戸・東京のメイン会場に加え、国内は15会場、海外2会場で開催し、約1,200名の方々に参加いただきました。その他、マレーシア・フィリピン・ベトナムで、血液凝固検査・免疫検査に関連する学術セミナーを開催し、OGT社では細胞遺伝学検査領域におけるユーザーミーティングなどを開催しました。

このような取り組みを継続することで、多くの医療関係者と信頼関係を構築するとともに、医学的な知識の蓄積による医療の質の向上を図っていきます。



学術セミナー（日本）



学術セミナー（インドネシア）



ワークショップ（ベトナム）

臨床検査の質向上に向けた活動を実施

シスメックスは、さまざまな取り組みを通して各国の臨床検査の質向上に貢献しています。

アジアの新興国・開発途上国に対して、外部精度管理などによる検査の標準化支援を行っています。2018年度は、フィリピン、タイ、モンゴル、カンボジア、ミャンマーにおいて外部精度管理を実施しました。

シスメックス アメリカでは、大学に血球計数装置を提供するとともに、機器を適切に操作するための講義、トレーニングなどのサポートもあわせて行っています。また、シスメックス 上海では、尿路感染症や糖尿病などに関連した細胞形態の識別能力を競う無料ソフトウェアを開発し、技術者の専門知識向上に貢献しています。

▶ 臨床検査の標準化・質向上に向けて学術支援活動を展開

魅力ある職場の実現 働きやすい職場環境の確保

公正な評価・処遇

能力・成果に基づく公平な人事評価

シスメックスは自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会を提供するとともに、公正な処遇に努めています。職掌・資格等級に応じた適切な処遇を実施しており、性別による基本給与の差はありません。

公正な処遇のベースとなる評価については、「企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いる」という考え方にに基づき、成果のみの評価ではなく、成果発揮にいたるプロセスの評価（コンピテンシー評価）も行っています。また、公平かつ納得性のある人事評価を目指し、評価結果、上司コメントを各個人に開示しています。

人材マネジメントシステムの考え方

1. 長期的な雇用を実現するために

- 多様な人材が安心して能力を発揮できる複線型の資格等級フレームを整備し、自己実現と成長の機会を提供

2. 多様な人材の能力開発・育成を推進するために

- コンピテンシーを基軸とする資格等級基準を設定し、昇格基準の明確化による人材育成と昇格運用の適正化を促進
- 成果のみではなく、成果発揮に至るプロセス（発揮能力）を評価し、人材育成と企業風土の変革を促進

3. 企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いるために

- 評価と報酬の関係をシンプルにし、誰にでも分かりやすい制度
- 仕事の貢献度・役割・発揮能力（コンピテンシー）および成果に連動したメリハリのある報酬体系

社員のキャリア設計をサポート

シスメックス株式会社では、全社員を対象とした「自己申告制度」を運用しています。この制度では、毎年個々の社員へのヒアリングを行い、中長期のキャリアや海外勤務、職種についての希望などを聞き取っています。これによって、一人ひとりに自己のキャリアの方向性とライフプランについて考える機会を持ってもらうとともに、申告内容を能力開発や人材配置に活用しています。

契約社員・派遣社員などの登用・待遇改善

シスメックス株式会社は、契約社員や派遣社員の正社員登用にも積極的に取り組んでいます。契約期間が限られている有期雇員者に対し、公平に登用機会を提供することを社内規程において明文化するとともに、イントラネットなどで周知徹底を図っています。

また、働きやすい環境づくりを目的として、正社員に対し導入していたフレックスタイム制や福利厚生プログラムシステム「カフェテリアプラン[※]」の適用対象者を契約社員にも拡大しました。これにより、通院や子育てなど、個々の事情に応じて従業員が自主的に就業時間を設定し効率的に業務を遂行しています。今後も適宜、制度などの見直しを実施し、従業員の待遇をより良いものにしていきます。

※ 福利厚生プログラムシステムの一つ。会社が毎年、従業員に「カフェテリアポイント」を提供し、自らの意思によって特定の福祉（ワークライフバランス向上）のために費やすことができる。

▶ 過去3年間の実績は「2018年度実績データ」をご覧ください。

モチベーションアップにつながる社内表彰制度を導入

シスメックスでは、グループで最も貢献した個人および組織・グループをたたえる表彰制度「グループCEOアワード」を導入し、毎年、グループ企業理念「Sysmex Way」を実践した個人1名、グループ1組を選出してその功績をたたえ、全社で共有しています。

また、研究開発者のモチベーション向上と知的財産に対する意識を高めることを目的とした「特許大賞・優秀特許賞」「パテントマイスター」「出願記念賞」の3つの「特許表彰制度」、さらに品質改善に関する成果を表彰する「品質アワード」を設けています。

従業員満足度向上に向けた取り組み

シスメックスでは、2年に1回、グループ全従業員を対象とした「企業風土調査」を実施しています。その中で従業員満足度についても調査をしています。調査結果は各部門にフィードバックし、満足度向上に取り組んでいます。調査のスコアが伸び悩んだ部門に対しては、人事部門が訪問して改善のためのアドバイスなどを実施しています。部門に対してだけでなく、個人に対しても人事部門がインタビューを行うなど、風土改革に向けた課題の特定と改善策の検討を図っています。

ワークライフバランスへの理解と支援

ワークライフバランス支援制度の利用促進

シスメックス株式会社では、イントラネット上の専用サイトでワークライフバランス支援制度についてわかりやすく解説している他、説明会なども開催し、周知を図っています。また、キャリアや働きがい、仕事とプライベートの両立、異文化理解などの幅広いテーマについて、自由な意見交換を実施するダイバーシティ・ラウンドテーブルを通じて従業員同士の情報共有を行う中で、制度の利用促進も図っています。

▶ [ダイバーシティ・ラウンドテーブルについてはこちらをご覧ください。](#)

仕事と育児の両立支援制度

さまざまな休暇制度や社内託児所で育児を支援

シスメックス株式会社は、出産前から育児までに対応した多様な制度を制定しています。不妊治療や出産前のつわりに対しての休暇制度をはじめ、出産後は子どもが2歳になるまでの育児休業や中学就学前までの勤務時間短縮制度および在宅勤務制度、職種別のフレックスタイム制度が利用できます。さらに、子どもの看護のために会社を休む際、法定休業以外に積立有給休暇を半日単位で利用できる制度を導入しています。復職前セミナーや育児休業中の従業員向けにニュースレターを配布し、スムーズな復帰を支援しています。

また、男性社員の育児参加ニーズにあわせ、配偶者出産時の特別休暇を出産の前後1カ月以内に2日取得できるようにし、出産準備にも参加できるよう配慮しています。また「育み休暇」として子どもが1歳になるまでの間は育児を理由に連続3日間の特別休暇を設けています。

研究開発拠点テクノパーク内には、従業員から乳幼児を預かる社内託児所「シスメックスキッズパーク」を設置し、常時保育だけでなく、配偶者が非常勤で働いている場合や、保護者の疾病、弔事などにより家族での保育が困難なときなどの一時的な利用にも対応しています。

これらの制度を計画的に整備してきたことが認められ、厚生労働省から次世代認定マーク（愛称「くるみん」[※]）を取得しています。

※ 次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん）を受けることができる。

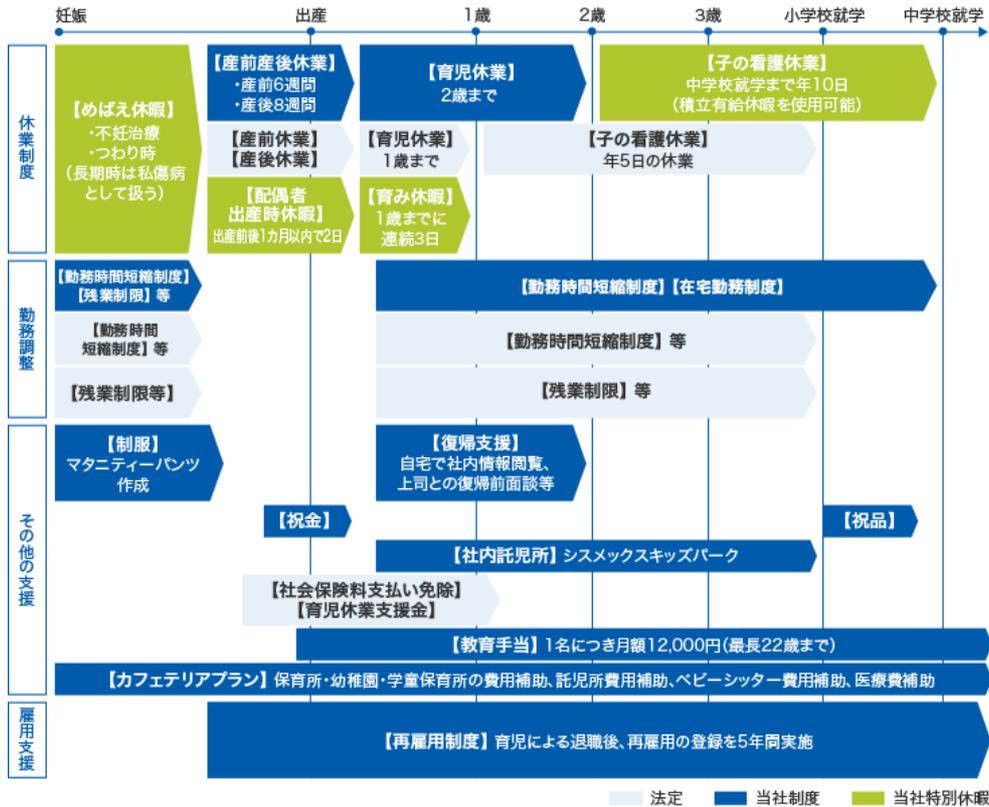


社内託児所「シスメックスキッズパーク」



次世代認定マーク「くるみん」

育児関連制度



その他のワークライフバランス支援制度

介護や社会貢献活動などを支援

シスメックス株式会社はワークライフバランスを実現するための制度の一つとして、介護に関する各種制度を整備しています。

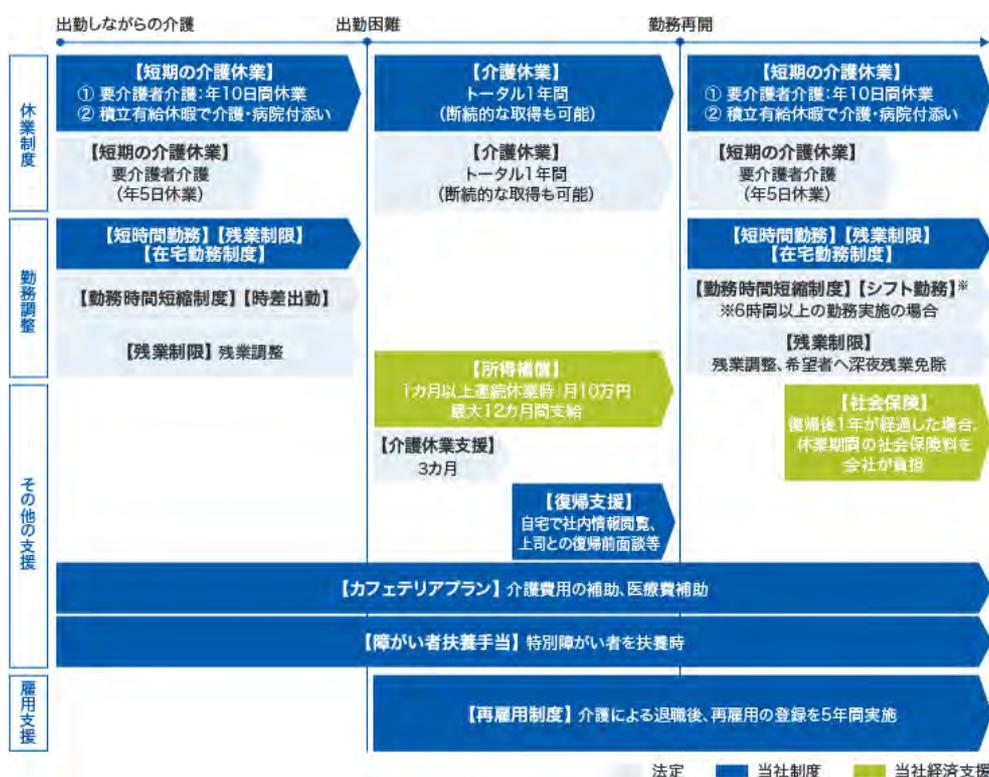
家族の入院などで付き添いが必要になったときには、短期の介護休業と積立有給休暇を半日単位で最大40日取得でき、要介護者・要支援者のご家族のための在宅勤務制度も導入しています。

また、1か月以上の介護休業による収入減や費用発生に備え、会社独自で介護休業補償金を支給する所得補償制度の他、介護でキャリアをいったん中断した従業員を再雇用する制度もあります。

これらの制度の存在意義や、突然の介護に備えて何をすべきかなど、介護と仕事の両立不安を解消するための説明会も行っています。

さらに、「ボランティア休暇」（年10日、2日までは有給休暇）、「（臓器提供などの）ドナー休暇」（1件につき5日）など、目的に応じて従業員が休暇を取りやすいようにさまざまなワークライフバランス支援制度を設けています。

介護関連制度



休業後の職場復帰を支援

シスメックス株式会社では育児や介護で休業した従業員のスムーズな職場復帰のため、3カ月前から社内メールやイントラネットに接続できるタブレット端末、ノートパソコンを貸与し、ITを活用した支援制度を導入しています。これはリアルタイムで社内情報を入手し、職場とのコミュニケーションを可能とすることで、復帰時における戸惑いや職場ギャップの解消を目指したもので、利用開始時には所属部門の上司と面談する機会も設定しています。また、育児休業からの復帰準備セミナーも行っています。

その他グループ会社での取り組み

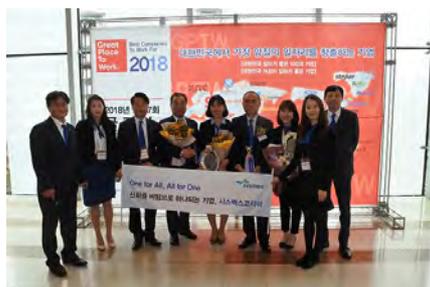
会社名	取り組み内容
シスメックス アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制度、在宅勤務制度の導入 法定以上の育児休暇制度の導入（父親、母親） ファミリーサポート制度の導入（子育て支援、家族休暇、家族が病気になった場合の外部機関によるサポート利用時の補助金支給）
シスメックス ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制度、在宅勤務制度の導入 親子ルームの設置 育児休暇制度の導入（父親、母親） 子育て支援制度（外部機関によるサポート利用時の補助金支給）
シスメックス 上海	<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制度の導入 子育て支援制度（医療保険補助）
シスメックス アジア・パシフィック	<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制度、在宅勤務制度の導入 子育て支援制度（医療保険補助、奨学金支給） 2日間のボランティア休暇を付与

グループ会社における社外からの評価・表彰

会社名	評価・表彰内容
シスメックス アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 「Companies That Care Honor Roll」に11年連続で選出 ▶ Companies That Care Honor Rollの受賞についてはこちらをご覧ください。
シスメックス ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> 「Top Employer SME 2019」医療機器カテゴリーで第8位（FOCUS-Business主催） 「Family Friendliness」賞を受賞（ドイツ連邦家庭・高齢者・女性・青少年省）
シスメックス マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> 「HR Asia Best Companies to Work for In Asia 2018」を受賞（HR Asia主催）
シスメックス コリア	<ul style="list-style-type: none"> 「Great Place to Work 2018」の韓国トップ100に初選定



親子ルーム（シスメックス ヨーロッパ）



Great Place to Work 2018（シスメックス コリア）



HR Asia Best Companies to Work for In Asia 2018（シスメックス マレーシア）

従業員関連データ

- ▶ [従業員関連データについてはこちらをご覧ください。](#)

魅力ある職場の実現 人材の育成

人材マネジメントの基本的な考え方

日本発のグローバル企業として、長期的な雇用を前提に多様な人材の能力開発・育成を推進し、企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報います。

行動基準

従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にするとともに、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

人材育成

グローバル人材育成の推進

グローバルに事業を展開するシスメックスのグループ従業員は約8,700名になり、海外従業員比率は6割を超えています[※]。このような状況において、グループ企業理念「Sysmex Way」を実践し、世界中の人々に安心をお届けしていくためには、個々の人材の能力向上はもちろんのこと、多様な人材同士がコミュニケーションを通じて、互いに価値観を共有し、気づきを得ることで、新たな価値や文化を探求・創造していくことが重要であると考えています。

その一環として2014年度にグループ共通の「グローバル人材開発体系」を制定し、事業活動および職場での一体感の醸成や次世代の人材育成、グループ内のネットワーク強化、異文化の相互理解のためのさまざまな施策に取り組んでいます。

※ 2019年3月末時点

4つのコンセプトに基づく人材育成

シスメックス株式会社では、取締役 専務執行役員が管掌する人材開発部を設置し、人材育成を推進しています。「研修と評価と仕事（成果発揮）を接続」「シスメックスグループのグローバル化の促進」「継続的な人材開発投資」「人を育て、人が育つ会社」の4つのコンセプトに基づき、選抜型研修、階層型研修、自律選択型研修を研修体系の軸とした計画的・段階的な人材育成に取り組んでいます。2018年度の1人当たり平均研修時間は16.6時間、平均研修費用は109,000円、受講者数は971名でした[※]。

また、社内外の多様な文化や価値観を持つ人々が集うための施設であるグローバル コミュニケーション センター（GCC）を兵庫県芦屋市に開設し、人材開発体系に基づく各種研修、部門横断型の勉強会、合宿などへ活用します。

※ シスメックス株式会社のデータであり、人事部門が提供する研修を対象とする。eラーニング、自己啓発および実地研修など業務の一部に該当するものは除く。

▶ 過去3年間の実績は「2018年度実績データ」をご覧ください。



異文化体験研修



施設見学や業務体験を通じたグループ会社間の交流

研修体系の3つの軸

研修区分	目的
選抜型研修	<ul style="list-style-type: none"> グローバルリーダーの育成 将来的な経営人材の育成
階層型研修	<ul style="list-style-type: none"> 企業理念、当社歴史の理解深化 階層ごとに最低限必要とするマネジメントや課題解決などの知識・スキルの習得 部門間コミュニケーションの促進
自律選択型研修 (Sysmex College)	<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行における実践的な知識・ノウハウ・スキルの習得 ビジネス・マネジメント各種知識の習得

人材育成プログラム事例

会社名	プログラム名・ 施策名	目的・概要
シスメックス株式会社	グローバル人材交流プログラム	グループ会社間の従業員の交流を促し、互いに理解を深めることで関係強化を図る。
	グローバル アプレンティス プログラム	若手社員を海外グループ会社へ6カ月間派遣し、実務経験を通してグローバルで活躍できる人材を育成する。
	ものづくりトレーニングセンターでの研修	シスメックスの機器製品の製造に関わる知識・技能を習得する。
	R&D革新活動	研究開発者のチーム力や提案力の強化を図る。
シスメックス ヨーロッパ	Tsunagari	次世代リーダーの育成と連携を図るプログラム。事業計画、コーチング、リーダーシップスキル強化の研修を実施
	Sysmex Days	中途入社者を対象とした3日間の研修。Sysmex Way、会社の基本的知識や企業風土、マネジメント層との対話、試薬生産工場見学などを実施
	Sysmex School	全従業員を対象とし、一般的なビジネススキルから専門的な内容まで幅広いテーマで講義やワークショップを実施。スキル向上と同時に社内ネットワーク促進を目的とする。
シスメックス アジア・パシフィック	LinkedInラーニング	全従業員対象のSNS (LinkedIn) を利用したオンライン・トレーニングで、マネジメントやリーダーシップ、クリティカル・シンキング、ビジネス分析力、データ分析力、Microsoft Excel/Accessなどのスキル習得・強化を図る。
シスメックス アメリカ	Sysmex Mini MBA	全従業員を対象とした能力開発プログラムで、財務会計、マネジメント、戦略、マーケティング、事業、技術、販売、管理等のスキル習得・強化を図る。
	Sysmex Management Academy	新任管理職などを対象とした半年間の選抜型研修。シスメックスの経営の役割と責任に関する洞察力など、マネジメントスキルの強化を図る。
シスメックス 上海	新任管理職研修	新任マネージャー対象の研修でマネジメントスキルやチーム形成の習得を図る。
	WeChat研修	WeChatによる研修で製品に関わる知識・技能の習得を図る。

魅力ある職場の実現

ダイバーシティの推進

ダイバーシティ&インクルージョン

取り組みの意義

シスメックスでは、「人材」を持続的な成長のための重要な経営資源の一つとして捉え、多様な人材が在籍する「ダイバーシティ」から、多様な人材が働きやすい環境を整備し受容する「ダイバーシティ&インクルージョン」を目指した取り組みを進めています。

多様な価値観・考え・経験・能力のシナジー効果により、イノベーションの創出と価値の創造につなげていきます。

ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて

シスメックス株式会社では、取締役 専務執行役員が管掌するダイバーシティ推進部門を設置し、多様性やLGBT[※]への理解などをさらに推し進める組織文化を醸成しています。例えば、情報発信や理解浸透のための取り組みとして、「ダイバーシティポータルサイト」をイントラネットに立ち上げています。また、ダイバーシティに関する意識調査を実施し、従業員の声を取り入れた施策を展開しています。

シスメックス アメリカでは、「アファーマティブ・アクションプログラム（差別撤廃プログラム）」に基づいた施策を実行してマイノリティ（少数派）に対する偏見や差別の解消を目指しています。

※ レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った性的マイノリティの総称

多様な人材の確保

就職機会の均等化を目指して

シスメックス株式会社では、国籍・人種・性別・年齢・職歴・障がいの有無を問わず、人物本位で採用を実施しています。具体的には、就職が不利な状況に置かれている既卒学生や海外留学生などに対する就職機会の均等を図るために、いつでも応募できる通年採用を実施しています。さらに、世界中のどこからでも応募できるよう、海外での現地説明会や面接に加え、インターネットを通じたウェブ説明会やウェブ面接も実施しています。2018年度も前年度に引き続きインターンシップを実施し、海外の人材に当社を知ってもらうための施策を強化しています。

また、シスメックス アジア・パシフィックでは、2008年から公正な雇用慣行に関するTAFEP[※]の誓約書に署名し、従業員に研修を実施しています。

※ TAFEP (Tripartite Alliance for Fair & Progressive Employment Practices) は2006年5月に、公平な雇用を推進するために設置された、政労使代表（政：シンガポールの人材開発省、労：全国労働組合会議、使：シンガポール全国使用者連盟）からなる機関。シンガポール国家経営者連盟（SNEF）、全国労働組合会議（NTUC）の代表が共同委員長を務める。

障がい者雇用を推進

シスメックスでは、障がい者雇用を進めています。それぞれの適性や能力を活かして、長期的に活躍できる雇用形態で就業しており、シスメックスの日本国内関係会社における2018年度の障がい者雇用率は2.21%です。

2017年4月に、特例子会社[※]である「シスメックスハーモニー株式会社」を兵庫県神戸市に設立しました。シスメックスハーモニーでは、身体、知的、精神に障がいを持つ方々が個々の特性やハンディキャップにあわせて活躍できる業務や職場環境を準備し、「障がいの有無に関わらず、誰もが安心して働く喜びを感じながら、いきいきと活躍し、ともに成長できる、笑顔あふれる職場」を目指しています。



シスメックスハーモニーでの作業の様子

シスメックス ヨーロッパにおいても、障がい者の自立支援に取り組んでいる団体と連携し、ドイツ試薬生産工場の製造ラインでの梱包作業などを障がいを持つ方々に委託しています。作業者の方々と業務の目的を共有するとともに、定期的なトレーニングと従業員によるサポートを実施することで、高いモチベーションを維持して作業に取り組んでいただいています。

※ 障がい者の雇用のために特別の配慮をしていると公共職業安定所長から認定を受けた子会社。親会社の就業規則とは別に、障がい者の労働能力や就業条件を配慮した就業規則や設備環境を整備でき、障がい者の職域拡大を図ることが容易になる。

高齢者雇用—定年退職者再雇用制度

シスメックス株式会社では定年を60歳とし、高齢者雇用を推進するための制度として65歳までの定年退職者再雇用制度を運用しています。2018年度は、定年退職者のうち、社内ルールに基づいて18名を再雇用しました。

女性活躍推進

シスメックス株式会社は、多様性を受け入れ、従業員一人ひとりの人格や個性を大切にするとともに、安心して能力が発揮できる職場環境整備の一環として、社内託児所設置や法定以上の育児休業などの整備に取り組んできました。また、女性活躍推進法の施行に基づき、2016年4月に「女性活躍推進 行動計画」を制定し、女性リーダーの育成や多様な働き方を促進しています。

そのような取り組みの結果、シスメックス株式会社の女性社員比率^{※1}は2005年度19.9%から2018年度は30.8%まで向上しました。女性管理職比率^{※2}も2005年度2.4%から2018年度8.1%まで向上し、2018年度のグループ全体の女性管理職比率は15.2%となりました。

※1 就業者数でカウント

※2 課長級以上の者

女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」の最高位を取得

シスメックス株式会社では、これまでも従業員一人ひとりの人格や個性を大切にするとともに、安心して能力が発揮できる職場環境の整備を行ってきました。2016年9月には厚生労働省が女性活躍に関して定めた5つの基準を全て満たしたことにより、優れた取り組みを行う企業に与えられる「えるぼし」の最高位である「3段階目」を取得しました。



女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」

- ▶ [社会性データについてはこちらをご覧ください。](#)
- ▶ [女性活躍推進法（厚生労働省）についてはこちらをご覧ください。](#) 

理解の浸透と実行

ダイバーシティ教育

シスメックス株式会社では、キャリア、仕事とプライベートの両立、異文化理解などの幅広いテーマについて、自由な意見交換や部門を超えたコミュニティづくりの場としてダイバーシティ・ラウンドテーブルを開催しています。2018年度は「LGBTと多様性」「イスラム教とマレーシア」「父親の育児参加を考えよう」などを展開しました。また、ダイバーシティ&インクルージョン啓発のための「D & I Book」の配布と、eラーニングを実施しました。

シスメックス アメリカやシスメックス ヨーロッパにおいてもダイバーシティ教育の実施やダイバーシティを推進するための従業員グループをつくり、理解と浸透に努めています。

労働安全衛生

職場の安全・衛生の確保

グローバルコンプライアンスコードに「職場の安全・衛生の確保」を明示

シスメックスは、グローバルコンプライアンスコードにおいて「8-4 職場の安全・衛生の確保」に取り組むことを明示し、さまざまな活動に展開しています。

▶ グローバルコンプライアンスコードについてはこちらをご覧ください。 [🔗](#)

役員・従業員が協力して安全衛生の確保を推進

シスメックスでは従業員の安全衛生を確保する指針として「安全衛生規程」を定め、安心して働ける職場づくりに努めており、国内のグループ会社を対象とした中央安全衛生委員会を設置し年に2回開催しています。同委員会では国内のグループ会社の安全衛生・健康管理体制の強化・充実に図るための方針・目標を策定する他、各事業所の安全管理状況の把握、改善すべき施策の検討を行い、結果はリスクマネジメント委員会を通じて経営層へ報告しています。

2018年度は安全衛生目標に「労働災害ゼロ」「従業員への健康投資による活力向上、生産性向上を目指した健康経営の推進」を掲げ、各社・各事業所の安全衛生委員会が中心となって取り組みました。

各事業所で定期的に開催される安全衛生委員会では、職場巡回で把握したリスクの排除など、リスクアセスメントの考えに基づき、短期から長期の視点で未然に災害を防止する対策に取り組んでいます。

また、事故や急病人の発生時の適切な応急措置や退避方法、危険性のある機械や原材料の取り扱い方などに関する安全教育や、大規模災害を想定した総合消防訓練、AED使用方法の研修、市民救急救命士講習なども定期的を実施しています。特に災害時における迅速な従業員の安全確保と安否確認、事業所などの被災や製品の供給状況、お客様の被災に関する情報の共有など、初動対応に関する訓練を適宜実施しています。

シスメックス ブラジルは、労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な規格であるOHSAS 18001[※]の認証を取得しています。

※ 1996年に英国規格協会（BSI）が発行した規格BS 8800を基に、約30の各国審査登録機関、標準団体などが集まって1999年に発行された規格

労働災害度数率/強度率（シスメックス株式会社）



注:労働災害度数率:のべ労働100万時間当たりの死傷者数の割合
労働災害強度率:のべ労働1,000時間当たりの労損失日数の割合
※ 出典:厚生労働省「労働災害動向調査」

過重労働の防止

過重労働は心身の健康を妨げる要因となることから長時間労働の防止にも取り組んでいます。関連法令の遵守だけでなく時間外・休日労働時間については勤怠および入退社ICカード時間から、厚生労働省の指針よりも厳しい社内基準を設け、この基準を上回った場合、その上長へ連絡して業務改善を図ります。また、従業員には自己チェック票の提出を求め、法定以上の社内基準に沿った産業医との面談の機会を設けています。

2018年4月から個人のパソコンの起動とシャットダウン時間を自動的に取り込んで労働時間を把握し、過重労働を予防する教育研修の実施および具体策の運用を開始しました。2019年3月にも、「働き方改革」関連において、コアタイムなしのフレックスタイム制導入などの説明とともに時間管理・過重労働対策に関して、再教育を実施しています。

健康経営の推進

心身の健康の保持・増進

シスメックス株式会社では、従業員の心身の健康の維持・向上が安全で快適な職場づくりに不可欠なものであると考え、定期健康診断に加え、人間ドックや女性特有のがん検診などを実施し、疾病の早期発見に努めています。医療機器を取り扱う当社の業態上、業務によっては感染性のある物質などに接する機会もあることから、このような業務の従事者に対しては、法定の特殊健康診断に加え、B型・C型肝炎検査を含む独自の健康診断を年2回の頻度で実施しています。また、「がん対策推進企業アクション^{※1}」および「知って、肝炎^{※2}」パートナー企業に登録および肝炎医療コーディネーターの教育を受けた従業員を育成する他、「兵庫県がん検診等受診率向上推進協定」を締結しています。

また、従業員のメンタルチェックやハラスメントに関する状況把握を行う「ココロの健康診断」を年1回実施し、経年的に結果を把握し、職場改善を図っています。

健康相談に関しては、全社的な窓口を設け、産業医や保健師と面談できる体制を整えており、メンタルヘルスについては外部相談機関（EAP）も設置しています。

また、健康保険組合と協働で、創立50周年記念のウォーキングイベントや、勤務時間内の特定保健指導の面談も実施しています。

健康維持のための福利厚生施設として、ソリューションセンターの敷地内にグラウンドやテニスコート、フィットネス設備を備えた体育館などを設け、スポーツ施設利用補助制度なども継続しています。また、従業員自身に健康への関心を持ってもらうためのイベント・セミナーや、健康の増進のためのプログラムが含まれる「カフェテリアプラン^{※3}」、社員食堂でのヘルシーメニュー提供も実施しています。

このようなさまざまな取り組みが評価され、2019年2月に、経済産業省より優良な健康経営を実践している法人として、「健康経営優良法人 ～ホワイト500～」の3回目の認定を受けました。

※1 厚生労働省の委託によるプロジェクト。職場での取り組みを通して、日本のがん検診受診率を50%に引き上げることを目指す。

※2 肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性をわかりやすく伝えることで、早期発見・早期治療の実現を目指す厚生労働省のキャンペーン

※3 福利厚生プログラムシステムの一つ。会社が毎年、従業員に「カフェテリアポイント」を提供し、自らの意思によって特定の福祉（ワークライフバランス向上）のために費やすことができる。



〈創立50周年記念事業〉健康チャレンジ企画“ウォーキング・ジャーニー”“私の健康チャレンジ宣言”実施

シスメックスは2018年に創立50周年を迎えました。節目となるこの年の記念事業の一つに「健康チャレンジ」であるウォーキング・ジャーニーを実施しました。これは、ヘルスケアの進化を目指す企業として、全世界から従業員を募り、全社一体となって地球50周（200万km）完歩を目指すグローバルチャレンジイベントです。参加者はスマートフォンに”歩行計測アプリ”をダウンロードして“ウォーキング・ジャーニー”に登録し、グローバルで開催されるさまざまなウォーキングイベントに参加します。2,000名以上の従業員が参加し、2019年3月に目標の50周に到達しました。また、歩数ランキング上位者の表彰も行いました。

「私の健康チャレンジ宣言」では、社内SNSで健康目標を宣言、共有することで、従業員の健康意識の向上を促進しました。

上記以外にも海外のグループ会社では従業員の健康確保に向けたさまざまな施策に取り組んでいます。

会社名	取り組み内容
シスメックス アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 社内フィットネスルームの設置 フィットネス手当・健康手当の支給 健康診断やインフルエンザ予防接種費用の補助
シスメックス ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> 社内フィットネスルームの設置 スポーツや栄養管理のプロから指導を受けることができる健康管理プログラムの提供 カフェテリアでの無料ランチの提供
シスメックス UK	<ul style="list-style-type: none"> 電話での健康に関するカウンセリングを24時間体制で実施 第三者によるストレスリスクアセスメントの実施 カフェテリアでのフルーツや水の無料提供
シスメックス スペイン	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクラブへの加入費用の補助 リラクゼーションや栄養に関する健康管理プログラムの提供 カフェテリアでのフルーツ無料提供
シスメックス パルテック	<ul style="list-style-type: none"> ランチタイムや就業後に参加できるスポーツコースの提供
シスメックス 上海	<ul style="list-style-type: none"> 社内フィットネスルームの設置
シスメックス 台湾	<ul style="list-style-type: none"> 従業員本人と、配偶者あるいは両親のうちのいずれか1名へ、半日の人間ドックの費用を補助
シスメックス アジア・パシフィック	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクラブへの加入費用の補助 保健省が実施する健康イベントへの参加推奨と表彰制度の実施 カフェテリアでのフルーツの無料提供
シスメックス マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> 折り畳み自転車を従業員に貸与するなど、マラソンやサイクリングイベントへの支援 ヨガ教室やバドミントンイベントの開催
シスメックス インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> フルーツや水の無料提供
シスメックス ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 全従業員対象のスポーツアクティビティの開催

労働者の権利の尊重

組合結成の自由と団体交渉の権利の尊重

国連グローバル・コンパクトへの参加とILO 中核的労働基準の支持

シスメックスでは、国連グローバル・コンパクトへの参加とILO 中核的労働基準の支持に基づき、組合結成や団体交渉といった従業員の権利を尊重しています。

シスメックス株式会社の労働組合であるシスメックスユニオンには役職者や一部の管理職を除いた全従業員が加入し、その割合は61%です（2018年度）。中国の済南シスメックス、シスメックス 無錫、シスメックス タイ、シスメックス ベトナム、ハイフェンバイオメッドなど海外のグループ会社でも組合を結成しています。

労使の対話

グループ各社で労働組合との対話を実施

シスメックス株式会社では毎年シスメックスユニオンとの団体交渉を実施しています。

2018年度には定例の労使協議会に加え、適宜労使間協議を行い、健康経営の推奨や働き方改革を含めた労務時間管理、福利厚生制度などの各施策について議論しました。このような組合との対話は海外のグループ会社でも実施しています。

従業員の声を経営に反映

- ▶ [働きやすい職場環境の確保についてはこちらをご覧ください。](#)

人権の尊重

人権の尊重に関する方針と取り組み

国連グローバル・コンパクトへの参加と世界人権宣言、ILO 中核的労働基準の支持

シスメックスでは、グローバルコンプライアンスコードに「8. 人権の尊重と安全・衛生の向上」を掲げ、全ての従業員の人権を尊重した企業経営、職場環境づくりに取り組んでいます。これは「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である」ことを規定した世界人権宣言、仕事で守られるべき最低限の労働基準を定めたILO 中核的労働基準の趣旨に則ったものです。このような考えに実効性を持たせる狙いから、差別、ハラスメント（嫌がらせ）、強制労働・児童労働を禁止するために遵守すべきルール、行動のガイドラインを明文化するとともに、さまざまな研修を通して従業員の啓発を行っています。2011年2月には国連グローバル・コンパクトに参加し、「人権・労働・環境・腐敗防止」に関する10原則への企業姿勢を明らかにしました。

また、ヒトゲノム・遺伝子解析研究および臨床研究にあたっては、関連法規制などへの対応を行うとともに、被験者の人権への配慮を徹底するために社内に委員会を設置し、研究倫理に関する具体的な規程を設けています。

- ▶ [グローバルコンプライアンスコードについてはこちらをご覧ください。](#)
- ▶ [研究倫理についてはこちらをご覧ください。](#)

人権リスクの特定（人権デュー・デリジェンス）

シスメックスでは、グローバルコンプライアンスコードの「8. 人権の尊重と安全・衛生の向上」に基づき、自社内にとどまらず、サプライチェーン全体の事業活動における人権への影響を特定し、負の影響を防止・緩和していく「人権デュー・デリジェンス」の取り組みが必要であると考えています。具体的には、取引先に対するCSR調査項目の中に「強制労働・児童労働の禁止」「男女・障がい者・人種等に対する差別の排除」などを盛り込み、シスメックスの活動が人権侵害に関与・加担することのないよう、人権への影響を事前に把握し、予防的に対処するしくみを整えています。またシスメックスでは「英国現代奴隷法」が発効したことを受け、シスメックス UKがホームページに声明文を公開するなど、同法に適正な対応をしています。

- ▶ 「英国現代奴隷法」の対応については[こちらをご覧ください。](#)（シスメックス UKのホームページ）
- ▶ サプライチェーンにおける人権に配慮した調達方針については[こちらをご覧ください。](#)

人権に関する相談・通報制度

シスメックスでは、国内外で内部通報制度を設置し、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントをはじめとする人権相談を受け付けています。

- ▶ [内部通報制度についてはこちらをご覧ください。](#)

人権の尊重を理解するための教育・啓発

人権侵害防止に向けた教育を実施

シスメックスは、ハラスメント（嫌がらせ）の防止や、労働に関する正しい知識の浸透などを目的とする教育を実施し、人権侵害の防止に努めています。

2018年度は新任役職者向け研修で、LGBT[※]を含むハラスメント、労務管理に関する研修を約100名に行った他、新入社員、中途採用者に対しても研修を実施しました。

※ レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った性的マイノリティの総称

社会貢献活動

社会貢献方針

シスメックスは、豊かな健康社会、生き生きとした地域社会作りにつながる社会貢献活動を積極的に行うとともに、従業員の主体的な社会貢献活動を支援します。

- **豊かな健康社会への貢献**

ヘルスケア企業としての特徴を活かした社会貢献活動を積極的に展開し、より豊かな健康社会づくりに貢献します。

- **生き生きとした地域社会への協力**

「企業市民」として社会と価値観を共有し、社会貢献活動への賛助ならびに自らもその活動に参画することにより、生き生きとした地域社会の実現に協力します。

- **従業員の社会貢献活動への支援**

従業員がグループの一員であることに誇りを持ち、市民として社会貢献活動を主体的に実践できるように支援します。

2012年5月制定

シスメックスは、Sysmex Wayの行動基準の「社会に対して」および「社会貢献活動方針」に基づいた活動を行うことにより、豊かな健康社会づくりと生き生きとした地域社会づくりに貢献していきます。

豊かな健康社会づくり

寄附講座の開設を通じた医療への貢献

2004年から、神戸大学大学院医学研究科に寄附講座「立証検査医学（シスメックス）」を開設し、新規の臨床検査技術の共同研究を進めてきました。同講座では、当社の中央研究所と共同で、HDL（高比重リポタンパク）機能の評価により心疾患のリスクを高精度かつ簡便に診断する技術の開発を行い、HDL機能の冠動脈疾患リスクマーカーとしての可能性を見いだすなどの成果をあげています。

また、2017年度からは外科学講座 国際がん医療・研究推進分野に2つの寄附講座を開設し、人工知能・ロボット技術などの最先端テクノロジーの外科領域への導入と、低侵襲かつ根治を実現するがんの外科治療法の確立を目指した取り組みを進めています。当社は寄附講座と連携し、自社が保有するリキッドバイオプシー技術や、メディカロイドのロボット技術を活用することで、次世代医療や新規医療機器の研究開発を促進します。

財団を通じた医療への貢献

東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）の創業者故中谷太郎が1984年に設立した「財団法人中谷電子計測技術振興財団」は、2012年に「公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団」と改称し、医工計測技術分野における先導的技術開発の助成を中核事業として、研究者への表彰、技術交流への助成などを行っています。

設立30周年を迎えた2014年度以降事業を順次拡大しています。小中高校の科学教育振興のための助成、理系学部生の国際交流プログラムに続き、2017年度には医工計測技術分野で博士号取得を目指す大学院生に対する奨学金（給付型）および5年間で総額3億円の長期大型の研究助成を開始しました。現在では、小学生から研究者にいたるまで幅広い人材育成・支援を行っています。

2018年度の助成金・報奨金などの総額は約5億3千万円でした。

〈創立50周年記念事業〉グローバル社会貢献活動

シスメックスは、2018年に創立50周年を迎えました。節目となるこの年に実施した記念事業のうち社会貢献活動では、グローバル統一テーマ「より健康な社会をめざす」を掲げ、がん・感染症・生活習慣病・認知症/アルツハイマー病・献血の5つのキーワードを軸に活動を展開し、全世界で延べ約13,000名が参加しました。

世界各地でさまざまな活動が行われる中、日本では、公益財団法人 日本対がん協会が主催する「リレー・フォー・ライフ」に参加しました。「リレー・フォー・ライフ」とは、がん征圧を目指すがん患者や共に戦う人々を励まし支援するチャリティー・イベントです。国内10カ所で行われたこのイベントに、当社従業員約100名がボランティアとして参加しました。

主な活動一覧

テーマ	内容	実施会社
医療に関する物理的支援	2018年に発生した西日本豪雨の際に、被災した医療機関に対して、検査に必要な精製水や試薬容器などの物資を提供	シスメックス株式会社
	消防署などに、血球計数検査機器、尿検査機器、および試薬などを提供	シスメックス フィリピン
	中華民国血液病学会が選定する個別化医療に関する優秀な研究に対してSysmex Award贈呈を開始	シスメックス 台湾
啓発活動	がん撲滅・がん患者支援のためのチャリティラン・チャリティウォークに参加	シスメックス アメリカ シスメックス UK、オックスフォード ジーン テクノロジー シスメックス カナダ
	がん患者のために髪の毛を寄付する「Hair for Hope」に参加	シスメックス アジア・パシフィック シスメックス マレーシア
	教育・啓発のための絵本を作成	シスメックス株式会社
	サラセミア（遺伝子異常によって溶血性貧血をきたす遺伝性疾患）、HIVの啓発活動実施	シスメックス インドネシア
国際協力事業への貢献	JICA研修生の受け入れ（計110カ国800名以上） （1994年からの累計）	シスメックス株式会社
寄付・協賛	小児患者への寄付、物品寄贈 例： 腎臓疾患を抱える子どもたちへの支援団体「Kidney Kids NZ」への寄付（ニュージーランド）など	シスメックス 上海 シスメックス フィリピン シスメックス マレーシア シスメックス パルテック シスメックス アイノスティクス シスメックス ニュージーランド



リレーフォーライフ（シスメックス株式会社）



Macmillan Cancer Support（シスメックス UK）



Breast Cancer Walk（シスメックス アメリカ）

活き活きとした地域社会づくり

第8回神戸マラソンに協賛

シスメックス株式会社は、阪神・淡路大震災からの復興に手を差し伸べていただいた皆様への感謝の気持ちを込めて毎年神戸で開催されている「神戸マラソン」に、第1回大会から継続して特別協賛しています。

2018年11月に開催された第8回大会にも特別協賛し、ランナーゼッケンなどを提供する他、同時開催の「神戸マラソンEXPO」にも出展しました。また、ボランティアによる大会運営支援を実施しました。



従業員による給水ボランティア

地域の方々との交流イベントを開催

シスメックスは、地域住民の方々を当社施設にお招きし、交流を深めるイベントを毎年開催しています。2018年5月にはテクノパークの庭園を開放し、近隣住民の方々に散策を楽しんでいただくイベントを開催し、約800名にご来場いただきました。当日のメインイベントとしてはがん、アルツハイマー病、糖尿病をテーマとした「健康セミナー」や当社の主力事業である血液検査をより知っていただくための「血液講座」などを開催しました。



テクノパークフェスタ（シスメックス株式会社）

低所得者向け住宅の修復支援活動とCompanies That Care Honor Rollの受賞

シスメックス アメリカは、世界70カ国以上で低所得者に住まいを提供するための活動を行っている国際NGO「Habitat for Humanity」の活動を支援しており、それらの家の修復費用の寄付および従業員ボランティアによる支援を行っています。また、「Companies That Care Honor Roll 2019」（米国NPO法人Companies That Care主催）を11年連続で受賞しました。同賞は、リーダーの育成や従業員の報酬・福利厚生 の充実、ワークライフバランス・働きやすい職場環境の推進、および地域でのボランティア活動などで優れた取り組みを実施している企業が選定されるものです。



低所得者向けの住宅の修復支援活動「Habitat for Humanity」（シスメックス アメリカ）



「Companies That Care Honor Roll」を11年連続で受賞（シスメックス アメリカ）

主な活動一覧

テーマ	内容	実施会社
次世代育成	「血液」「遺伝子」「健康診断」に関する出前授業を実施	シスメックス株式会社
	企業、大学、研究機関と交流するイベント「サイエンスフェア in 兵庫」に参加	
	学生の職業体験、インターンシップの受け入れ	シスメックス株式会社 Oxford Gene Technology IP Limited (OGT)
地域振興・文化の発展支援	「みなと異人館」の一般公開	シスメックス株式会社
スポーツ振興への支援	フィギュアスケート三原舞依・坂本花織選手との所属契約を継続	シスメックス株式会社
	サッカーJリーグ「ヴィッセル神戸」に協賛	
自然保護	「シスメックスの森」での森林保全活動や、自然環境理解を促す「森林観察会」を実施	シスメックス株式会社
地域社会	「神戸ハイテクパーク工業会」を通じた活動 <ul style="list-style-type: none"> 地域一斉清掃活動 交通安全セミナー参加 など 	シスメックス株式会社
	貧困家庭のための食料支援	シスメックス スペイン シスメックス ニュージーランド
	入院中の子どもたちや孤児たちへの寄付・支援 例： プレゼントの贈呈 クリスマス会の開催 従業員ボランティアによる病棟の壁への描画 孤児たちの朝食招待 など	シスメックス ポルスカ シスメックス 上海 シスメックス マレーシア シスメックス フィリピン シスメックス コリア



出前授業の様子
(シスメックス株式会社)



韓国小児白血病患者さんの支援
(シスメックス コリア)

従業員の社会貢献活動

シスメックスは、社会貢献活動方針で従業員のボランティア活動支援を表明するとともに、ボランティア休暇制度を設けて制度面でも支援するなど、従業員の主体的なボランティア活動を奨励しています。

活動を促進するため、従業員が地域のボランティア活動に参加したり、会社主催の社会貢献活動に参加するとポイントが付与される「社会貢献ポイント制度」を設け、ポイントに応じて会社が寄付を実施しています。この制度には国内グループ従業員の約60%である2,120名が参加し、その結果、約230万円分を寄付することができました。また、社会貢献ポイント制度の寄付先の一つであるNPO法人ジャパンハート主催の「小児がん患者とその家族をキッズニア甲子園に招待するイベント」や「小児病棟でのプラネタリウムイベント」に、当社従業員がボランティアとして参加し、参加者の付き添いや写真撮影などのサポートを行いました。

各事業所では従業員が企画した社会貢献活動を行っており、古本や古着などをNPO法人などへ寄付する活動などを実施しました。



(左) © UNICEF/UNI1 50956/Asselin
 (中央) © UNICEF/UNI1 08970/Asselin
 (右) © UNICEF/UNI1 79689/Markisz
 提供：(公財)日本ユニセフ協会

国内グループ従業員の約60%、2,120名が参画し、
 約230万円を寄付
 抗マラリア薬：約105,000錠(ユニセフ)、小児がんを抱える子どもと家族の旅行・
 外出への医療者付き添い支援など(ジャパンハート)



小児病棟プラネタリウムイベントでの
 ボランティア活動



キッズニア甲子園でのボランティア活動

献血時に用いる検査機器を提供しているシスメックスでは、従業員も積極的に献血活動に参加しています。

シスメックス株式会社は、2014年度から「献血サポーター企業」に登録し、6月と10月を献血月間として、国内グループ会社を巻き込み活動を展開しています。世界各地でも、定期的に献血活動を行っており、グループ全体で約1,700名の従業員が献血に参加しました。

同様に6月と10月を環境月間にも制定し、国内グループ会社で清掃活動を推進しています。



各地での献血活動

